

参考資料 3

第1回あん摩マッサージ指圧師国家試験試行試験実施報告書

平成 31 年 3 月 5 日

第 1 回あん摩マッサージ指圧師国家試験試行試験実施報告書

あん摩マッサージ指圧師
はり師きゅう師
国家試験 試行試験事務局

1 実施方法

(1) 問題構成

前半（85問）4肢択一・5肢択一混成、専門基礎分野80問・専門分野5問

後半（80問）4肢択一のみ、専門分野80問

(2) 試験時間

視覚障がい者：前半・後半ともに3時間15分、3時間15分（合計6時間30分）

晴眼者：前半・後半ともに2時間10分（合計4時間20分）

(3) 実施期間：平成30年11月12日（月）～11月30日（金）

2 実施人数と内訳

【全受験者】652人（70校）

【視覚障がい者】212人（53校）

大学1校

特別支援学校49校

国立障害者リハビリテーションセンター3校

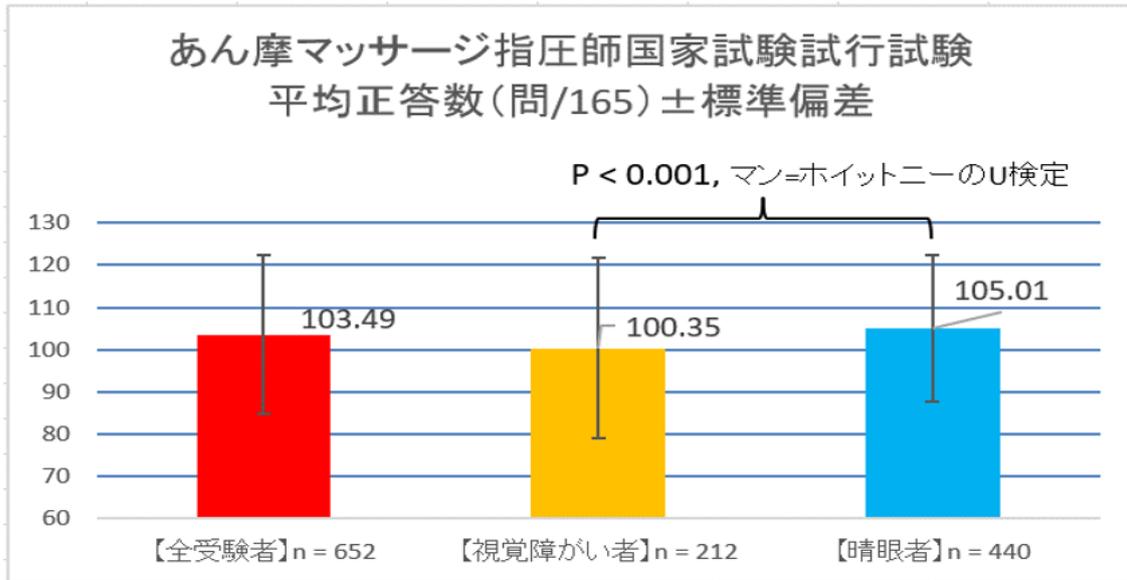
【晴眼者】440人（17校）

専門学校17校

3 平均正答数（点/問）と平均正答率

	平均正答数(±標準偏差) 【点】	平均正答率(±標準偏差) 【%】	60%以上を合格とした場合 の合格者数と合格率
視覚障がい者 (n = 212)	100.35(±21.46)	60.82(±13.01)	114人(53.77%)
晴眼者 (n = 440)	105.01(±17.28)	63.64(±10.47)	270人(61.36%)
全受験者 (n = 652)	103.49(±18.85)	62.72(±11.42)	384人(59%)

- 全165問における視覚障害者（212人）と晴眼者（440人）の比較において、視覚障害者の正答数が晴眼者の正答数よりも有意に低かった。（平均100.35 vs 105.07, $P < 0.001$, マン=ホイットニーのU検定. BellCurve for Excel (version 3.00) Social Survey Research Information Co., Ltd.）【グラフ1】【図1】



グラフ 1 あん摩マッサージ指圧師国家試験試行試験 平均正答率

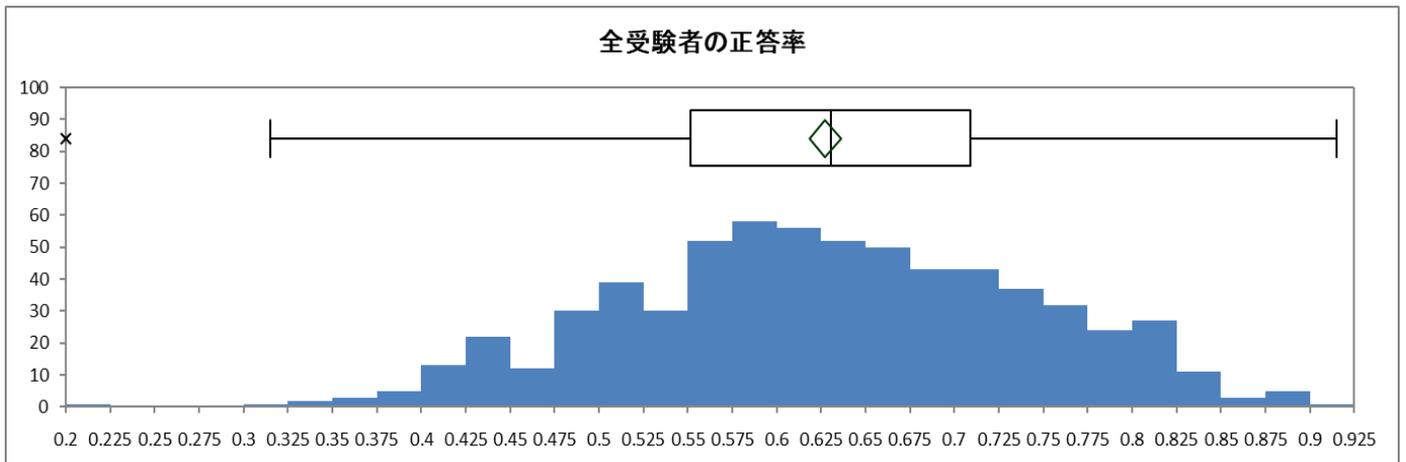


図 1-1 正答率の度数分布 (全受験者)

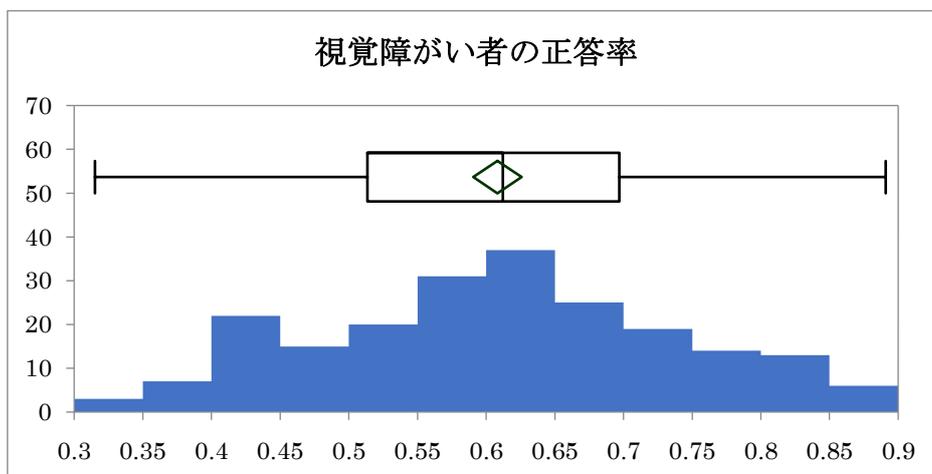


図 1-2 正答率の度数分布 (視覚障がい者)

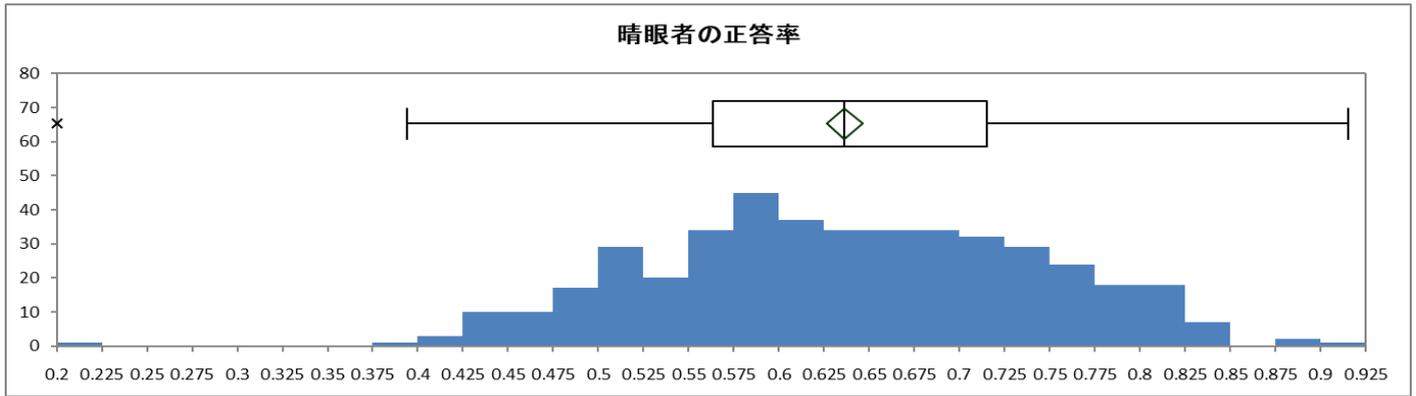


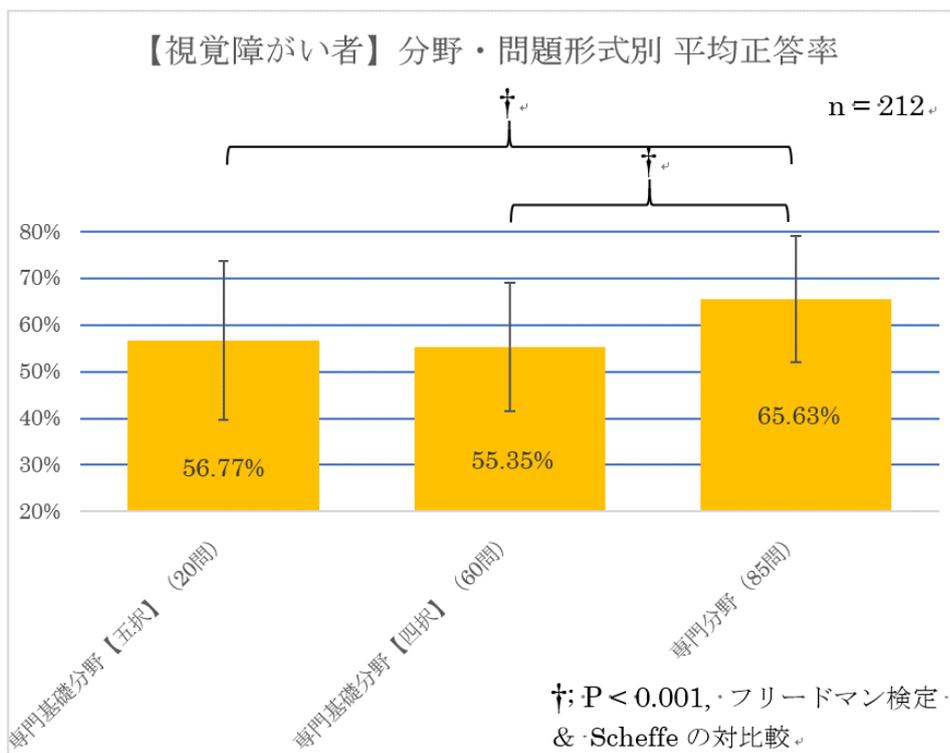
図 1-3 正答率の度数分布 (晴眼者)

4 分野別平均正答率 (±標準偏差)

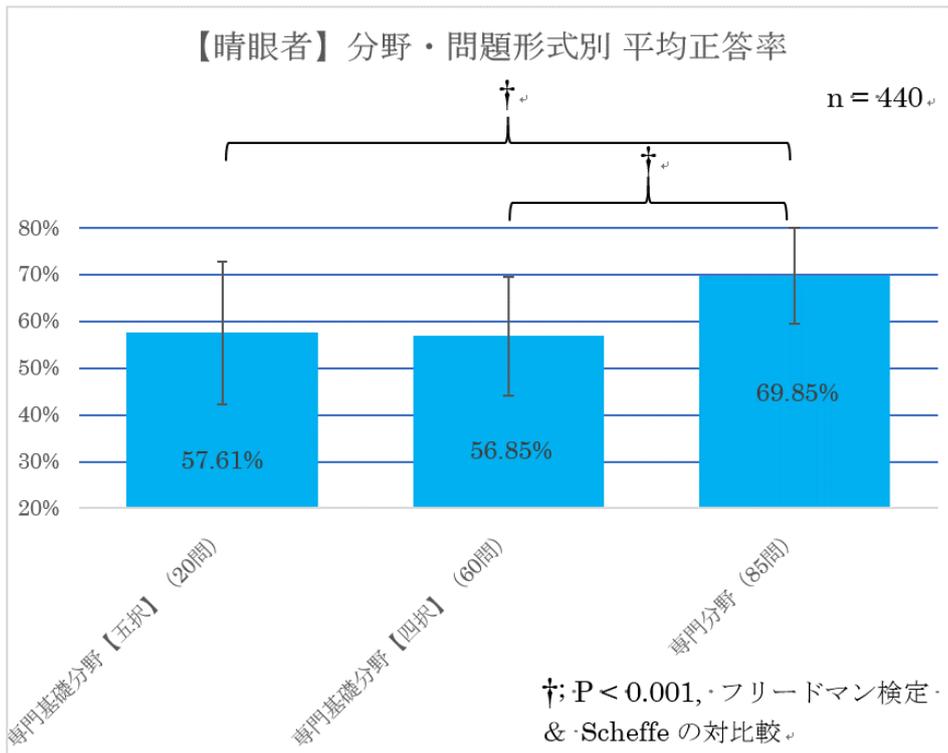
	専門基礎分野【五択】 (20問) %	専門基礎分野【四択】 (60問) %	専門分野 (85問) %
視覚障がい者	56.77(17.10)	55.35(13.74)	65.63(13.49)
晴眼者	57.61(15.26)	56.85(12.68)	69.85(10.21)
全受験者	57.34(15.89)	56.37(13.05)	68.48(11.55)

●専門基礎分野について、視覚障がい者・晴眼者いずれにおいても5択(20問)と4択(60問)との平均点に有意差は見られなかった。【グラフ2】

●5択専門基礎分野(20問)、4択専門基礎分野(60問)、専門分野(85問)の比較について、視覚障がい者・晴眼者いずれにおいても、5択専門基礎分野(20問)、4択専門基礎分野(60問)ともに、専門分野(85問)に比して正答率が有意に低かった。(P<0.001, フリードマン検定)【グラフ2】



グラフ 2-1
分野・問題形式別平均正答率 (視覚障がい者)



グラフ 2-2
分野・問題形式別平均正答率 (晴眼者)

●全受験者における分野・問題形式間の相関性、および視覚障がい者と晴眼者における正答率 (全 165 問) の相関性 (散布図と相関係数) を図 2 に示す。

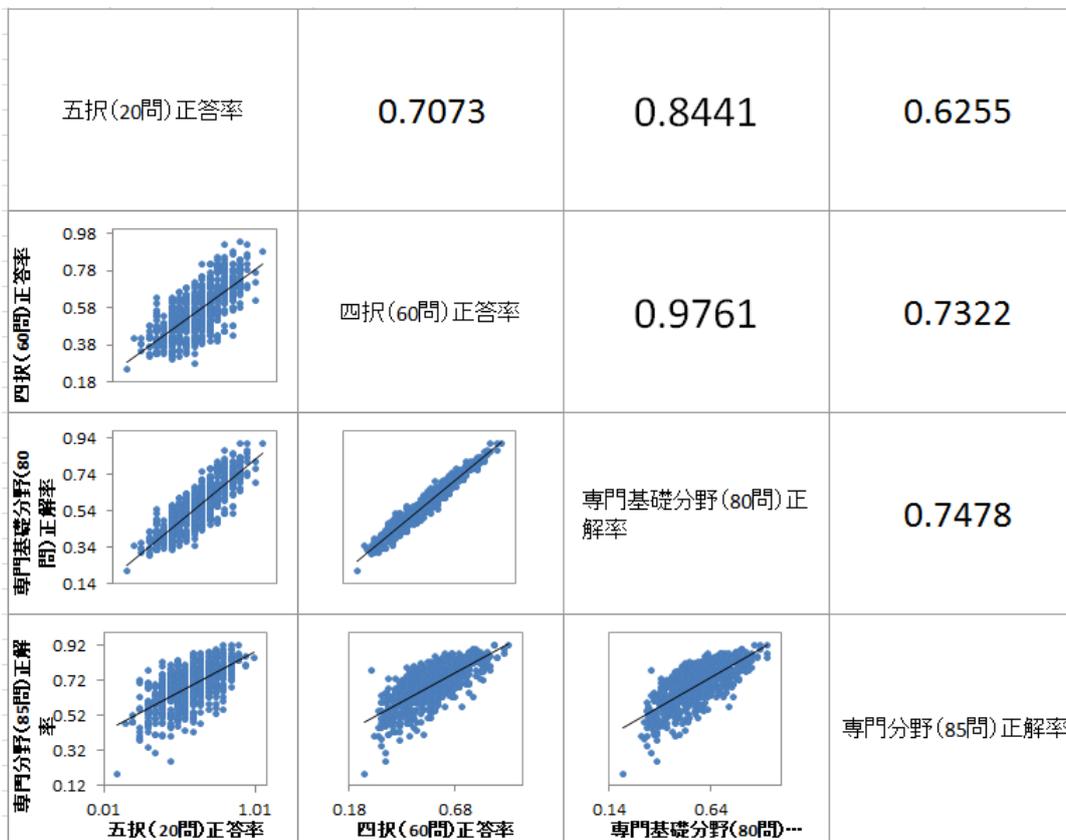


図 2-1 全受験者 (n=652) における分野・問題形式間の相関性 (散布図と相関係数)

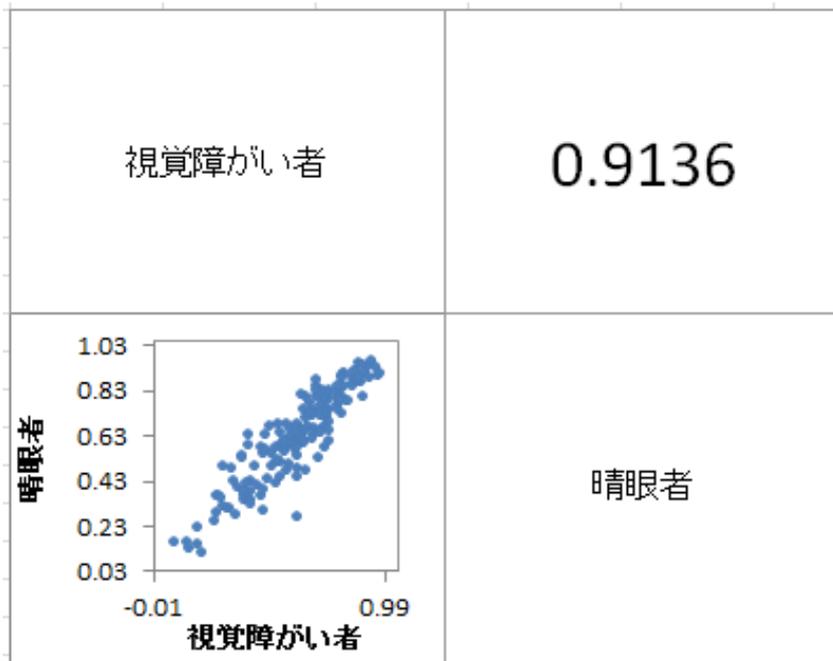
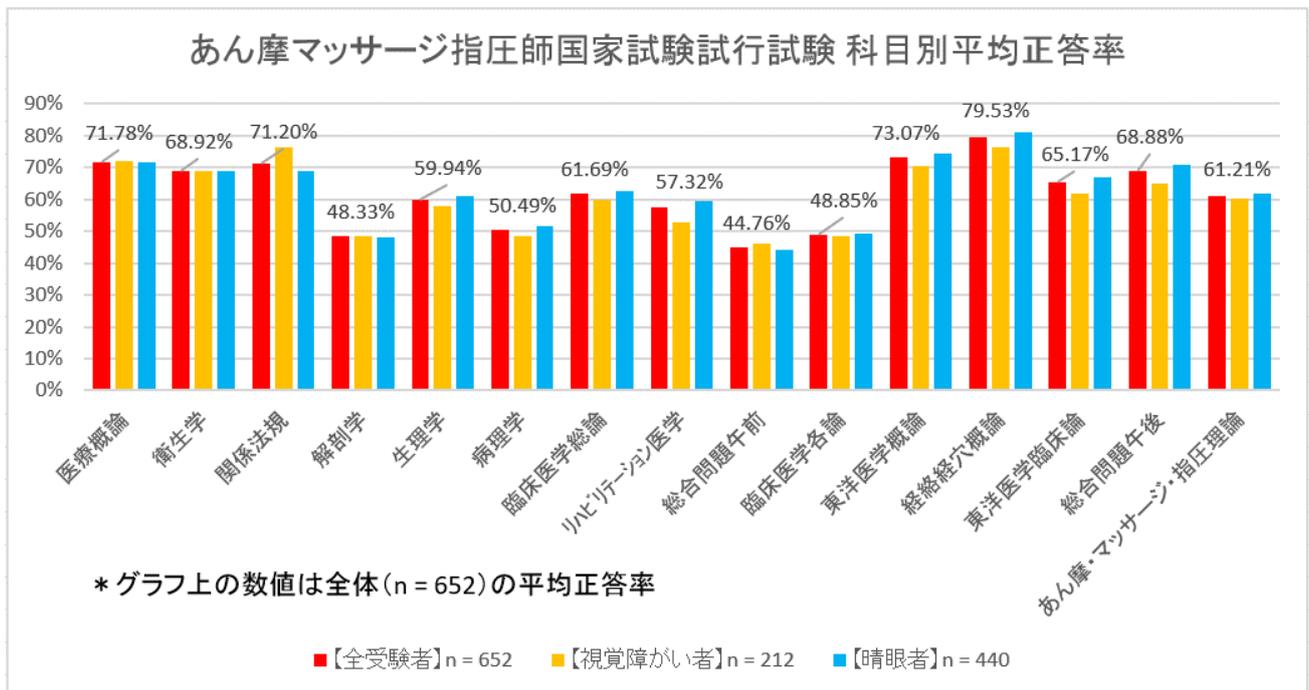


図 2-2 視覚障がい者と暗眼者における正答率の相関性（散布図と相関係数）

5 科目ごとの正答率と、各問題の識別指数



グラフ 3 視覚障がい者・暗眼者および全体の科目ごとの平均正答率比較（※全体の平均正答率のみ表示）

●視覚障がい者（n=212）および暗眼者（n=440）における科目ごとの正答率を図 3（レーダーチャート）に示す。

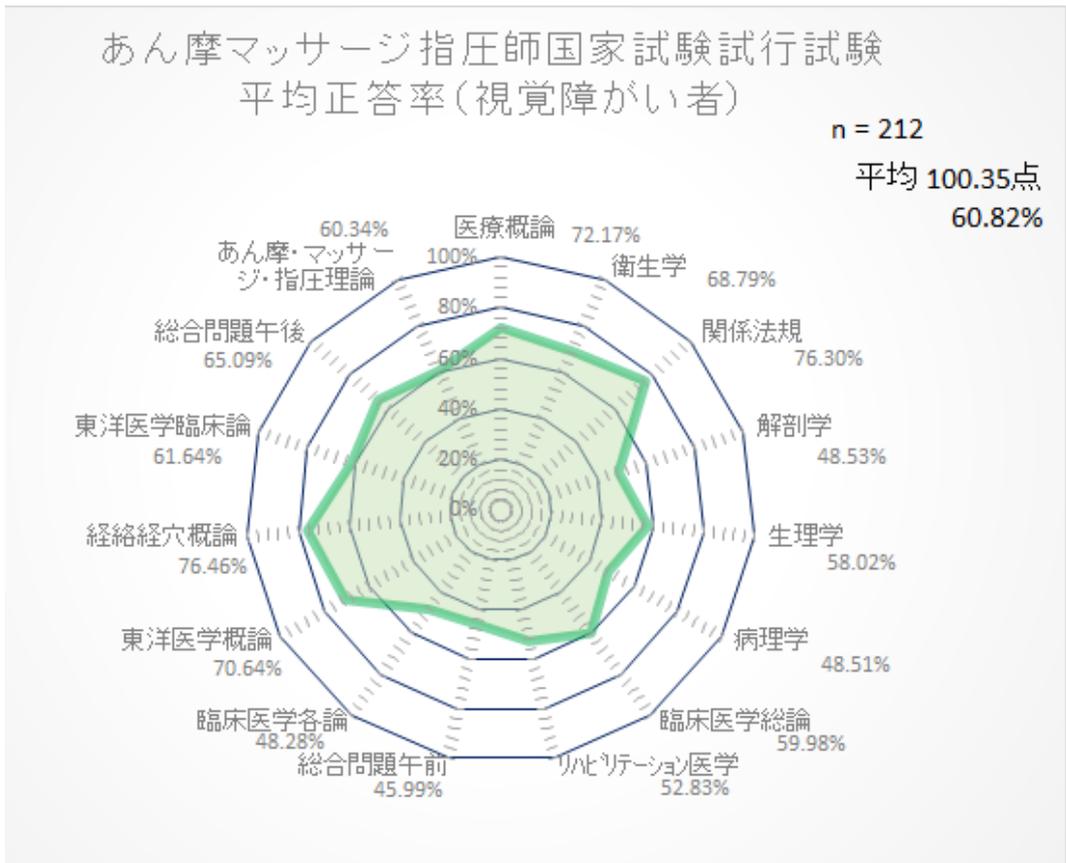


図 3-1 科目別平均正答率 (視覚障がい者)

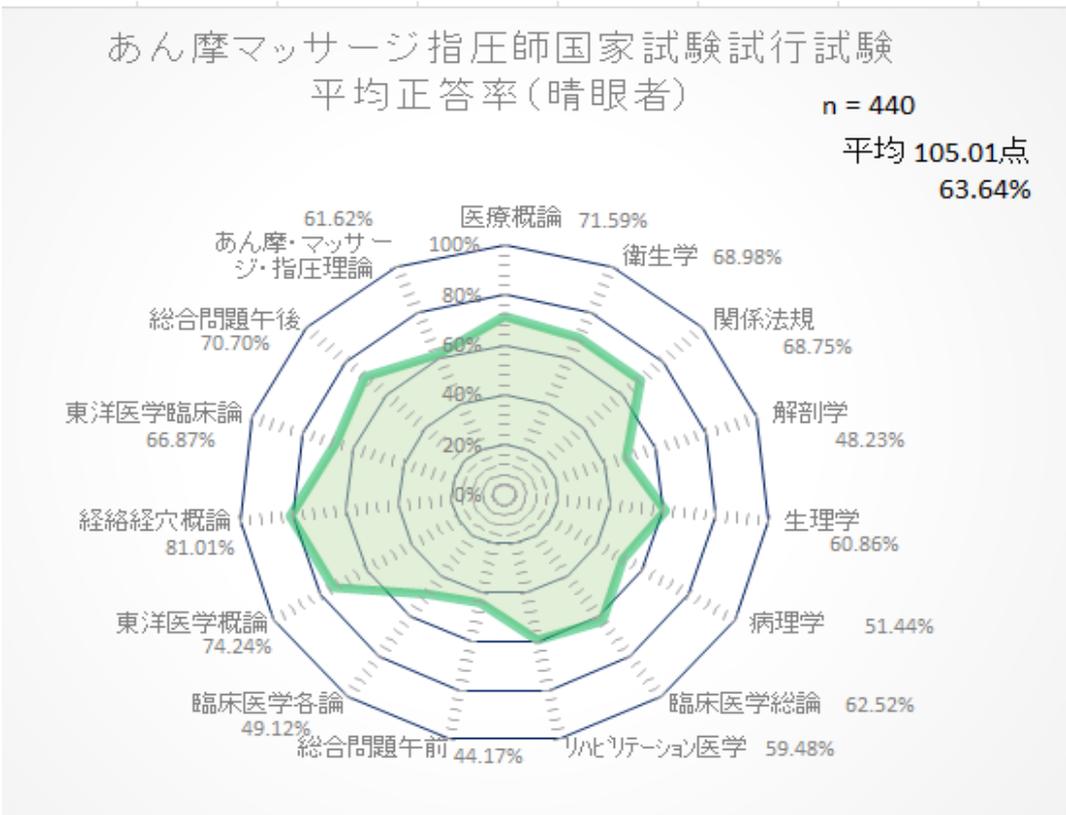


図 3-2 科目別平均正答率 (晴眼者)

6 問題ごとの正答率、識別指数

●問題ごとの正答率および識別指数を【別紙1】に示す。(0.25未満を赤字、0.25以上を青字で表示)

7 視覚障がい者における使用問題と解答時間の分析

●視覚障がい者における使用問題区分と、平均解答時間および平均得点(アンケート有効回答のみ抽出)

目的変数	人数	合計解答時間(分)		正答数(/165)	
		平均	標準偏差	平均	標準偏差
拡大文字	85	262.66	75.42	102.49	20.51
デイジー	26	305.15	71.80	96.81	24.04
超拡大文字	25	295.32	78.90	103.68	23.38
点字	19	271.42	66.04	98.58	18.88
普通文字	12	217.42	62.94	92.92	15.96
拡大文字・デイジー	2	354.00	50.91	65.00	1.41
超拡大文字・デイジー	2	310.00	14.14	111.00	21.21
点字・デイジー	2	327.50	116.67	68.50	0.71
合計	173	273.94	76.32	99.99	21.43

※晴眼者の平均
解答時間：前半
81.71分、後半
75.19分、計
156.9分

視覚障がい者において、使用問題の種別(※デイジー併用者については、主に使用した方)を目的変数、解答時間(前半+後半)および正答数(前半+後半)を説明変数として多変量解析(多項ロジスティック回帰分析)を行った。この回帰式には有意性($P < 0.01$)を認め、また、解答時間および正答数のいずれにおいても変数の有意性($P < 0.05$)を認めた。偏回帰係数の推定では、デイジーと解答時間(オッズ比 1.0170, $P < 0.01$)、および超拡大文字と解答時間(オッズ比 1.0154, $P < 0.01$)において有意性を示した。

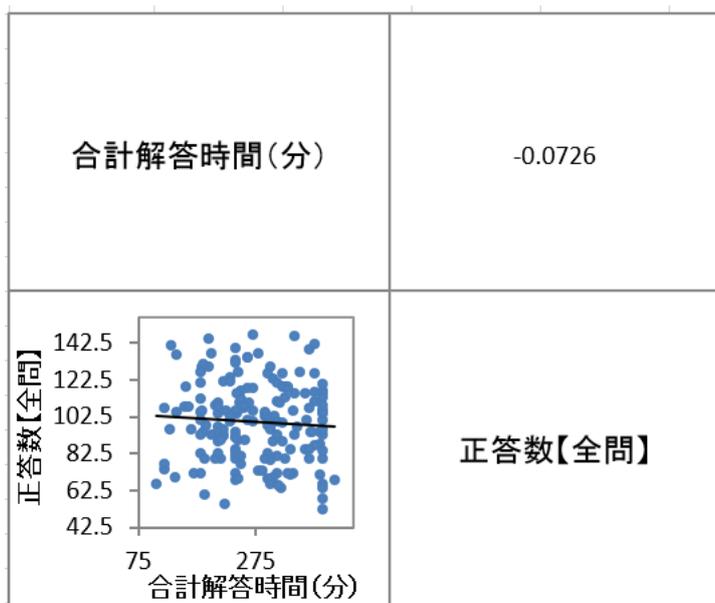
次に、使用問題と解答時間についてノンパラメトリック検定を行ったところ、デイジーの解答時間は、普通文字と比べ有意に長かった。($P < 0.05$; クラスカル=ウォリス検定, $P < 0.05$; Steel-Dwass の多重比較)

●視覚障がい者において「時間内に最後まで解答できなかった」と回答した者の内訳

	使用問題	前半 解答時間(分)	後半 解答時間(分)	総解答 時間(分)	前半 正答率	後半 正答率	全正答率 (総得点)	解答でき なかった 問題	最後まで 解答できな かった理由
1	拡大文字	195	195	390	51.76%	45.00%	48.48%	後半	文字数が多すぎ
2	拡大文字	90	120	210	58.82%	58.75%	58.79%	前半	問題数の勘違い
3	拡大文字	168	87	255	64.71%	65.00%	64.85%	前半 後半	未回答
4	超拡大文字	195	190	385	44.71%	41.25%	43.03%	後半	未回答
5	超拡大文字	195	195	390	50.59%	62.50%	56.36%	後半	目の症状悪化
6	デイジー	105	90	195	85.88%	90.00%	87.88%	前半	・問題数の勘違い ・時間的には余裕 がありそう
7	デイジー	150	150	300	34.12%	48.75%	41.21%	後半	聴くのに時間がか かり途中退席
	全体平均	140.81	118.41	259.22	56.83%	65.06%	60.82%		

全体平均の分母：解答時間 n=180
正答率 n=212

※全正答率が60%以上のものを青字で表している



視覚障がい者における解答時間と正答数の相関性をみたところ、相関係数は-0.073 となり、解答時間が長くなるほどわずかに正答数が下がる傾向が見て取れた。一方、60%以上を合格とした場合の合否（合格を1，不合格を0）を目的変数、前半・後半合計解答時間を説明変数とした二項ロジスティック回帰分析を行ったところ、有意性は見られなかった。

8 晴眼者における解答時間の分析

●晴眼者において「時間内に最後まで解答できなかった」と回答した者の内訳

	前半 解答時 間(分)	後半 解答時 間(分)	総解答 時間 (分)	前半 正答率	後半 正答率	全正答率 (総得点)	解答でき なかった 問題	最後まで 解答できな かった理由
1	85	70	155	52.94%	63.75%	58.18%	前半	未回答
2	70	80	150	74.12%	91.25%	82.42%	前半	不注意(見落とし)
3	70	90	160	67.06%	68.75%	67.88%	前半	不注意(見落とし)
4	75	75	150	51.76%	66.25%	58.79%	前半	未回答
5	75	45	120	49.41%	56.25%	52.73%	後半	未回答
6	100	90	190	74.12%	78.75%	76.36%	後半	未回答
7	68	130	198	75.29%	61.25%	68.48%	後半	未回答
8	54	45	99	49.41%	50.00%	49.70%	前半 後半	未回答
9	60	60	120	49.41%	72.50%	60.61%	前半 後半	未回答
10	100	100	200	45.88%	75.00%	60.00%	前半 後半	理解ができないから
全体 平均	81.71	75.19	156.9	58.08%	65.46%	63.64%		

全体平均の分母：解答時間 n=435
正答率 n=440

※全正答率が60%以上のものを青字で表している

9 アンケート集計結果(別紙 2)

●途中選出者記録を表 6 に示す。

【あま指試験退出時間データ】 *実施施設による記録に基づく

区 分	前 半						後 半					
	受験 者数	～60 分	～90 分	～110 分	～130 分	終了時在 籍数	受験 者数	～60 分	～90 分	～110 分	～130 分	終了時在 籍数
視覚障が い者	209	3	19	38	36	113	210	2	28	33	51	96
		1.4 %	9.1 %	18.2 %	17.2 %	54.1%		1.0 %	13.4 %	15.8 %	24.4 %	45.9%
晴眼者	443	108	217	62	43	13	442	142	218	50	21	11
		24.4 %	49.0 %	14.0 %	9.7%	2.9%		32.1 %	49.2 %	11.3 %	4.7%	2.5%

表 6 途中退出者記録

●視覚障がい者および晴眼者のアンケート集計結果を【別紙 2】に示す。

前半(85問)										後半(80問)									
問題番号	科目	正答数	形式	視覚障がい者		聴覚者		正答率	識別指数	問題番号	科目	正答数	形式	視覚障がい者		聴覚者		正答率	識別指数
				正答率	識別指数	正答率	識別指数							正答率	識別指数	正答率	識別指数		
問題 1	医療概論	4	五択	74.06%	0.25	83.41%	0.05	80.37%	0.13	問題 86		2	四択	64.62%	0.40	80.91%	0.20	75.61%	0.29
問題 2	衛生学	2	五択	88.21%	0.13	87.05%	0.21	87.42%	0.17	問題 87		3	四択	64.15%	0.49	47.95%	0.34	53.22%	0.38
問題 3	関係法規	2	五択	67.45%	0.34	72.50%	0.27	70.86%	0.27	問題 88		1	四択	39.62%	0.42	63.86%	0.37	55.98%	0.40
問題 4		1	五択	60.85%	0.57	27.95%	0.24	38.85%	0.29	問題 89		3	四択	64.15%	0.28	71.92%	0.24	69.33%	0.28
問題 5	解剖学	4	五択	53.77%	0.49	45.00%	0.52	47.85%	0.50	問題 90		1	四択	62.26%	0.49	63.41%	0.32	63.04%	0.38
問題 6		4	五択	31.60%	0.04	31.36%	0.05	31.44%	0.04	問題 91	東洋医学概論	4	四択	60.85%	0.45	48.86%	0.41	52.76%	0.41
問題 7		2	五択	56.60%	0.60	60.00%	0.49	58.90%	0.55	問題 92		1	四択	87.26%	0.28	88.18%	0.16	87.88%	0.19
問題 8	生理学	3	五択	56.60%	0.64	60.45%	0.63	59.20%	0.63	問題 93		3	四択	69.34%	0.34	85.91%	0.11	80.52%	0.22
問題 9		3	五択	40.09%	0.45	43.41%	0.58	42.33%	0.54	問題 94		3	四択	73.58%	0.40	79.77%	0.28	77.76%	0.34
問題 10	病理学	3	五択	35.38%	0.43	40.91%	0.35	39.11%	0.40	問題 95		1	四択	84.43%	0.34	89.77%	0.15	88.04%	0.20
問題 11		2	五択	80.66%	0.40	91.36%	0.18	87.88%	0.25	問題 96		4	四択	85.38%	0.38	92.27%	0.15	90.03%	0.24
問題 12	臨床医学総論	3	五択	79.72%	0.38	85.00%	0.26	83.28%	0.29	問題 97		2	四択	71.70%	0.51	76.14%	0.34	74.69%	0.40
問題 13		4	五択	67.92%	0.64	67.05%	0.49	67.33%	0.50	問題 98		2	四択	78.77%	0.40	85.91%	0.20	83.59%	0.28
問題 14		4	五択	80.66%	0.40	91.14%	0.22	87.73%	0.29	問題 99		1	四択	56.13%	0.57	68.86%	0.35	64.72%	0.43
問題 15	リハビリテーション医学	3	五択	25.47%	0.08	36.82%	0.01	33.13%	0.04	問題 100		1	四択	86.79%	0.30	91.82%	0.20	90.18%	0.24
問題 18		2	五択	53.77%	0.30	65.00%	0.49	61.35%	0.40	問題 101		3	四択	78.77%	0.43	80.45%	0.25	79.91%	0.31
問題 17	総合問題(前半)	5	五択	38.21%	0.43	35.45%	0.30	36.35%	0.37	問題 102	経絡経穴概論	2	四択	72.17%	0.49	76.59%	0.40	75.15%	0.42
問題 18		5	五択	44.81%	0.25	36.82%	0.17	39.42%	0.18	問題 103		3	四択	92.45%	0.21	96.82%	0.08	95.40%	0.12
問題 19		1	五択	53.30%	0.28	52.27%	0.25	52.61%	0.28	問題 104		1	四択	85.38%	0.38	91.82%	0.19	89.72%	0.23
問題 20		5	五択	46.23%	0.30	39.32%	0.38	41.56%	0.36	問題 105		2	四択	62.74%	0.28	61.14%	0.15	61.66%	0.20
問題 21		3	四択	60.85%	0.32	54.32%	0.25	56.44%	0.28	問題 106		1	四択	84.43%	0.40	86.14%	0.25	85.58%	0.29
問題 22	医療概論	4	四択	74.06%	0.40	75.00%	0.39	74.69%	0.37	問題 107		3	四択	80.19%	0.47	90.00%	0.19	86.81%	0.28
問題 23		4	四択	79.72%	0.40	73.64%	0.23	75.61%	0.31	問題 108		4	四択	63.21%	0.55	61.59%	0.18	62.12%	0.30
問題 24		1	四択	72.17%	0.42	81.36%	0.25	78.37%	0.30	問題 109		3	四択	90.57%	0.28	93.64%	0.08	92.64%	0.15
問題 25		1	四択	94.81%	0.06	93.64%	0.09	94.02%	0.09	問題 110		4	四択	68.40%	0.25	74.55%	0.25	72.55%	0.26
問題 26	衛生学	4	四択	59.43%	0.45	57.50%	0.33	58.13%	0.37	問題 111		1	四択	87.74%	0.32	95.91%	0.08	93.25%	0.16
問題 27		3	四択	63.68%	0.38	65.68%	0.15	65.03%	0.25	問題 112		4	四択	66.51%	0.28	78.41%	0.28	74.54%	0.29
問題 28		3	四択	34.43%	0.42	28.64%	0.35	30.52%	0.38	問題 113		1	四択	87.26%	0.08	89.09%	0.18	88.50%	0.15
問題 29		4	四択	95.28%	0.04	90.45%	0.10	92.02%	0.08	問題 114		4	四択	71.70%	0.43	83.64%	0.27	79.75%	0.36
問題 30	関係法規	2	四択	69.81%	0.30	53.64%	0.28	58.90%	0.29	問題 115		1	四択	80.66%	0.21	85.23%	0.19	83.74%	0.22
問題 31		1	四択	72.64%	0.30	58.41%	0.21	63.04%	0.20	問題 116		1	四択	57.55%	0.28	65.91%	0.14	63.19%	0.20
問題 32		3	四択	42.45%	0.49	50.00%	0.48	47.55%	0.48	問題 117		3	四択	28.30%	0.43	50.23%	0.36	43.10%	0.41
問題 33		4	四択	72.17%	0.42	80.23%	0.35	77.61%	0.38	問題 118		3	四択	72.64%	0.57	72.95%	0.30	72.85%	0.40
問題 34		2	四択	46.70%	0.45	64.09%	0.41	58.44%	0.45	問題 119		4	四択	7.55%	0.13	16.14%	0.13	13.34%	0.13
問題 35	解剖学	1	四択	30.19%	0.19	30.91%	0.21	30.67%	0.20	問題 120		2	四択	60.85%	0.49	45.45%	0.38	50.46%	0.39
問題 36		2	四択	26.42%	0.45	36.59%	0.52	33.28%	0.52	問題 121		3	四択	52.36%	0.80	52.50%	0.85	52.45%	0.82
問題 37		3	四択	72.64%	0.40	67.95%	0.33	69.48%	0.32	問題 122		4	四択	55.66%	0.53	58.64%	0.39	57.67%	0.44
問題 38		2	四択	86.32%	0.21	87.50%	0.21	87.12%	0.20	問題 123	東洋医学臨床論	4	四択	12.74%	0.17	16.82%	0.14	15.49%	0.14
問題 39		4	四択	79.25%	0.45	80.45%	0.46	80.06%	0.46	問題 124		1	四択	17.92%	0.30	23.18%	0.32	21.47%	0.31
問題 40	生理学	1	四択	50.00%	0.15	55.45%	0.40	53.68%	0.32	問題 125		2	四択	78.30%	0.28	75.68%	0.22	76.53%	0.24
問題 41		1	四択	33.02%	0.68	43.64%	0.54	40.18%	0.58	問題 126		3	四択	39.62%	0.15	59.09%	0.08	52.76%	0.17
問題 42		2	四択	45.75%	0.45	55.45%	0.53	52.30%	0.53	問題 127		4	四択	54.25%	0.17	60.45%	0.00	58.44%	0.07
問題 43		3	四択	74.53%	0.30	61.36%	0.24	65.64%	0.23	問題 128		3	四択	71.23%	0.23	65.45%	0.21	67.33%	0.25
問題 44		2	四択	47.64%	0.60	44.77%	0.38	45.71%	0.44	問題 129		3	四択	60.85%	0.34	68.41%	0.24	65.95%	0.28
問題 45		1	四択	71.23%	0.08	66.36%	0.07	67.94%	0.08	問題 130		4	四択	84.43%	0.08	85.68%	0.20	85.28%	0.17
問題 46	病理学	1	四択	40.09%	0.13	38.86%	0.28	39.26%	0.21	問題 131		2	四択	63.68%	0.53	75.68%	0.30	71.78%	0.42
問題 47		4	四択	69.34%	0.55	81.36%	0.32	77.45%	0.39	問題 132		3	四択	56.13%	0.28	48.41%	0.33	50.92%	0.29
問題 48		2	四択	27.36%	0.32	36.36%	0.51	33.44%	0.47	問題 133		2	四択	48.58%	0.72	67.50%	0.51	61.35%	0.58
問題 49		1	四択	25.00%	0.38	25.91%	0.12	25.61%	0.19	問題 134		3	四択	66.98%	0.25	74.77%	0.11	72.24%	0.18
問題 50		3	四択	60.38%	0.53	58.18%	0.42	58.90%	0.48	問題 135		1	四択	49.53%	0.38	50.00%	0.28	49.85%	0.31
問題 51		3	四択	51.89%	0.28	42.27%	0.30	45.40%	0.28	問題 136		4	四択	89.62%	0.08	91.14%	0.14	90.64%	0.11
問題 52	臨床医学総論	2	四択	73.58%	0.28	71.82%	0.25	72.39%	0.28	問題 137		3	四択	79.72%	0.34	89.55%	0.09	86.35%	0.20
問題 53		3	四択	44.81%	0.58	58.64%	0.47	54.14%	0.53	問題 138		1	四択	78.30%	0.45	85.91%	0.28	83.44%	0.34
問題 54		2	四択	43.40%	0.34	41.82%	0.19	42.33%	0.25	問題 139		1	四択	71.23%	0.51	72.95%	0.35	72.39%	0.40
問題 55		2	四択	37.74%	0.38	37.27%	0.27	37.42%	0.28	問題 140		3	四択	52.36%	0.45	68.64%	0.35	63.34%	0.39
問題 56		3	四択	74.06%	0.21	79.77%	0.24	77.91%	0.24	問題 141		1	四択	57.55%	0.25	63.41%	0.32	61.50%	0.32
問題 57		2	四択	46.23%	0.25	30.00%	0.19	35.28%	0.21	問題 142		3	四択	65.57%	0.43	68.18%	0.32	67.33%	0.38
問題 58		1	四択	56.60%	0.32	51.36%	0.25	53.07%	0.26	問題 143		1	四択	17.92%	-0.06	15.00%	0.05	15.95%	0.02
問題 59		3	四択	47.17%	0.40	57.50%	0.40	54.14%	0.40	問題 144		4	四択	67.45%	0.32	61.82%	0.40	63.65%	0.37
問題 60		1	四択	32.55%	0.42	49.55%	0.35	44.02%	0.40	問題 145		2	四択	74.06%	0.08	70.00%	-0.06	71.32%	-0.01
問題 61		3	四択	38.21%	0.15	38.64%	0.03	38.50%	0.06	問題 146	総合問題(後半)	3	四択	72.17%	0.55	80.23%	0.26	77.61%	0.36
問題 62		3	四択	51.89%	0.23	58.64%	0.27	56.44%	0.25	問題 147		4	四択	88.68%	0.30	95.23%	0.10	93.10%	0.17
問題 63		2	四択	59.43%	0.42	61.59%	0.28	60.89%	0.32	問題 148		1	四択	82.55%	0.28	79.09%	0.26	80.21%	0.28
問題 64	臨床医学各論	2	四択	63.21%	0.43	60.45%	0.45	61.35%	0.45	問題 149		2	四択	71.23%	0.51	76.82%	0.32	75.00%	0.38
問題 65		3	四択	57.55%	0.34	62.95%	0.37	61.20%	0.35	問題 150		3	四択	68.87%	0.42	88.18%	0.21	81.90%	0.30
問題 66		2	四択	55.19%	0.30	61.14%	0.37	59.20%	0.35	問題 151		4	四択	62.74%	0.64	81.82%	0.28	75.61%	0.44
問題 67		3	四択	19.81%	0.19	11.36%	0.16	14.11%	0.17	問題 152		4	四択	89.15%	0.28	80.68%	0.25	83.44%	0.21
問題 68		3	四択	55.66%	0.32	57.50%	0.15	56.90%	0.19	問題 153		2	四択	96.23%	0.04	91.59%	0.05	93.10%	0.04
問題 69		1	四択	51.89%	0.43	52.05%	0.29	51.99%	0.33	問題 154		2	四択	60.85%	0.42	65.00%	0.48		

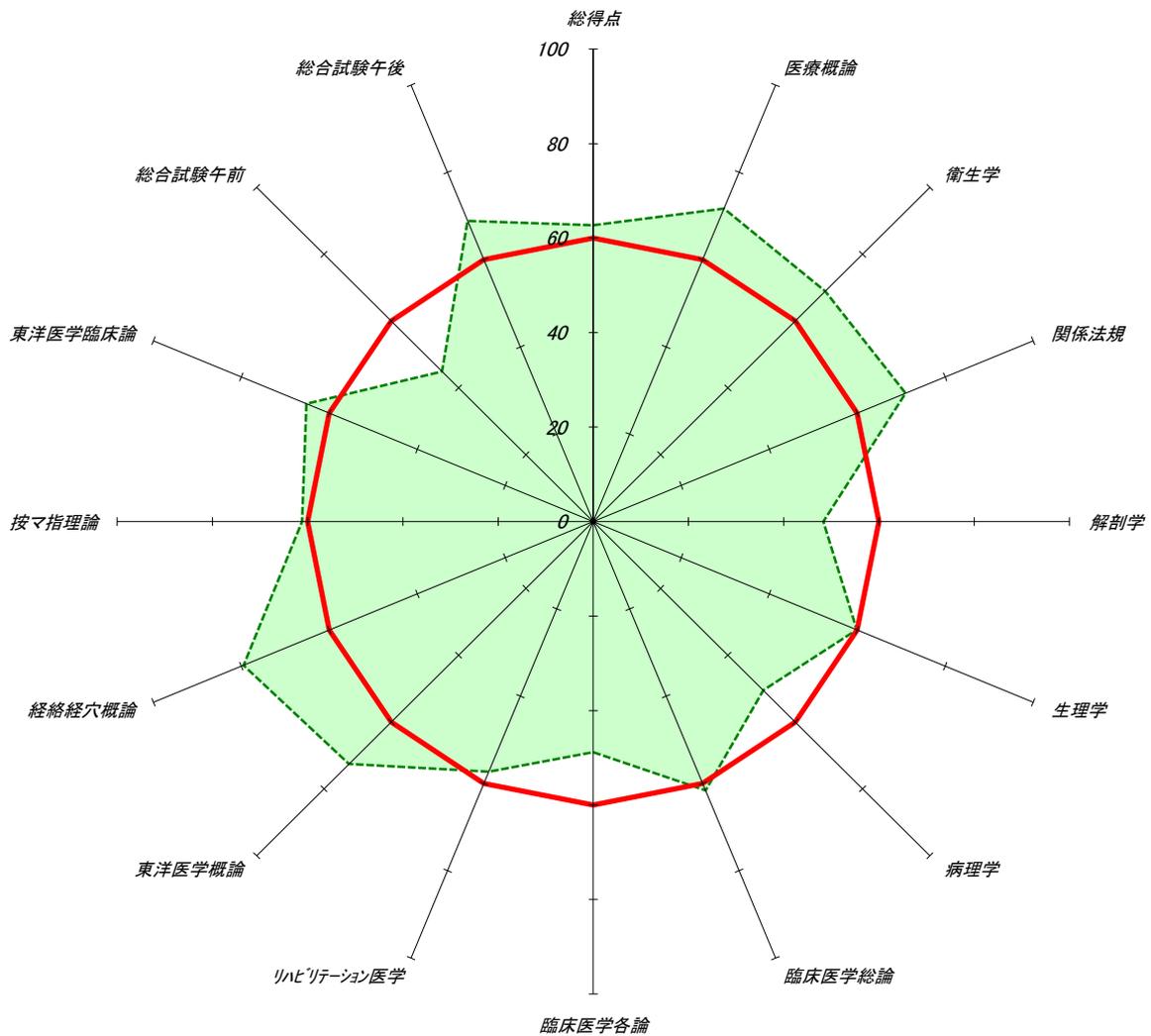
総集計表

あん摩マッサージ指圧師試行試験採点結果【最終】

注:点数()内は100%換算値

出題数 : 165問 満点 : 165.0点 受験者平均 : 103.5点 (62.7) 受験者数 : 653人
 標準偏差 : 18.83 最高点 : 151.0点 (91.5) 最低点 : 33.0点 (20.0)

出題科目	出題数	満点	平均点	標準偏差	最高点	最低点
医療概論	(4問)	4.0	2.9 (71.7)	0.96	4.0	0.0
衛生学	(6問)	6.0	4.1 (68.9)	1.18	6.0	0.0
関係法規	(4問)	4.0	2.8 (71.0)	1.02	4.0	0.0
解剖学	(9問)	9.0	4.3 (48.3)	1.93	9.0	0.0
生理学	(9問)	9.0	5.4 (59.9)	2.05	9.0	0.0
病理学	(6問)	6.0	3.0 (50.5)	1.35	6.0	0.0
臨床医学総論	(12問)	12.0	7.4 (61.6)	2.11	12.0	0.0
臨床医学各論	(14問)	14.0	6.8 (48.8)	2.30	13.0	1.0
リハビリテーション医学	(10問)	10.0	5.7 (57.3)	1.87	10.0	1.0
東洋医学概論	(17問)	17.0	12.3 (72.6)	2.84	17.0	2.0
経絡経穴概論	(11問)	11.0	8.7 (79.5)	1.92	11.0	1.0
按マ指理論	(14問)	14.0	8.6 (61.2)	1.91	13.0	0.0
東洋医学臨床論	(31問)	31.0	20.2 (65.2)	4.09	30.0	4.0
総合試験午前	(6問)	6.0	2.7 (44.9)	1.56	6.0	0.0
総合試験午後	(12問)	12.0	8.3 (68.9)	1.98	12.0	1.0



--- 全体の平均点
 --- 合格の目安

※グラフは全て100%換算値

視覚しょうがい者 あま指試験 アンケート結果

アンケート数											
180											
I プロフィール											
Q1 良い方の矯正視力				Q2 視野の状態			Q3 使用した問題。(デジジ併用は、主に使用した方1つ)				
1 0.02未満	2 0.02以上0.04未満	3 0.04以上0.3未満	4 0.3以上	1 測定不能	2 視野狭窄	3 正常	1 普通文字	2 拡大文字	3 超拡大文字	4 点字	5 デジジ
44	32	58	45	29	129	22	11	89	29	21	32

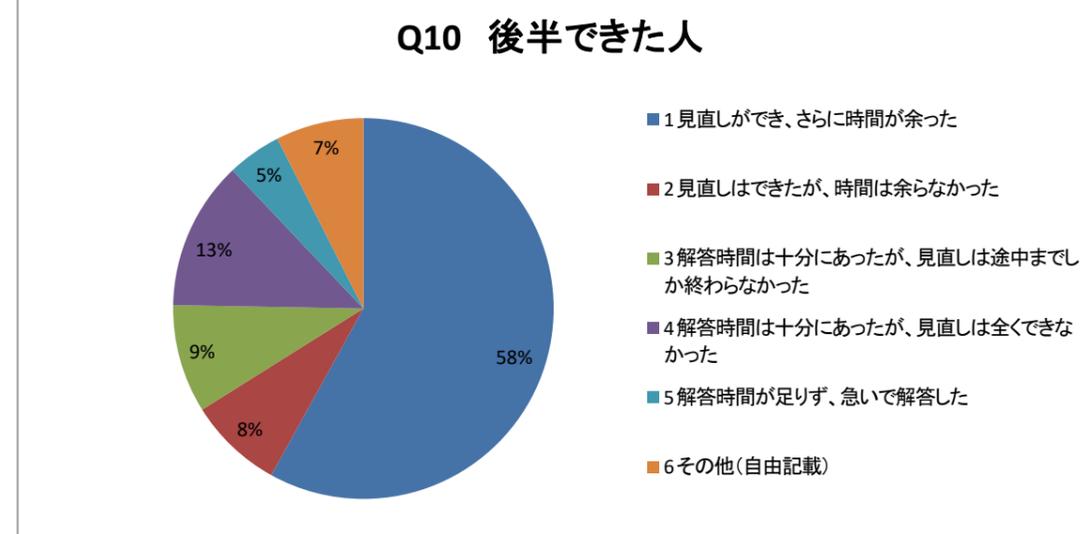
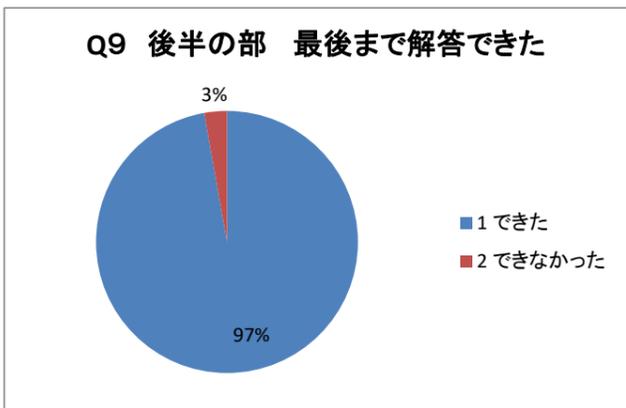
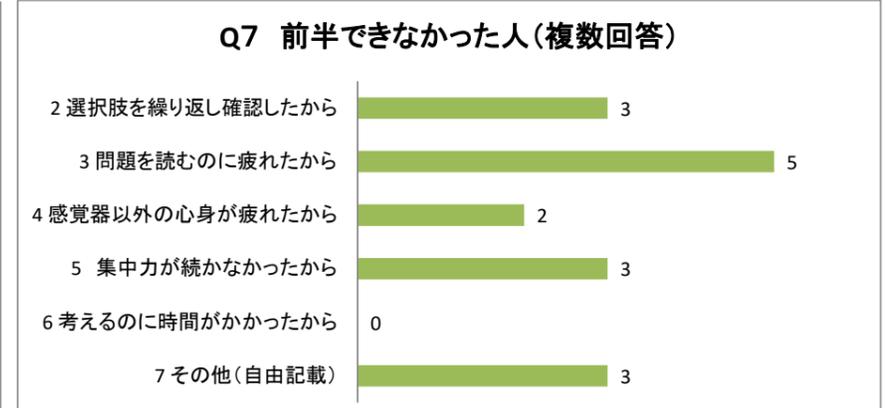
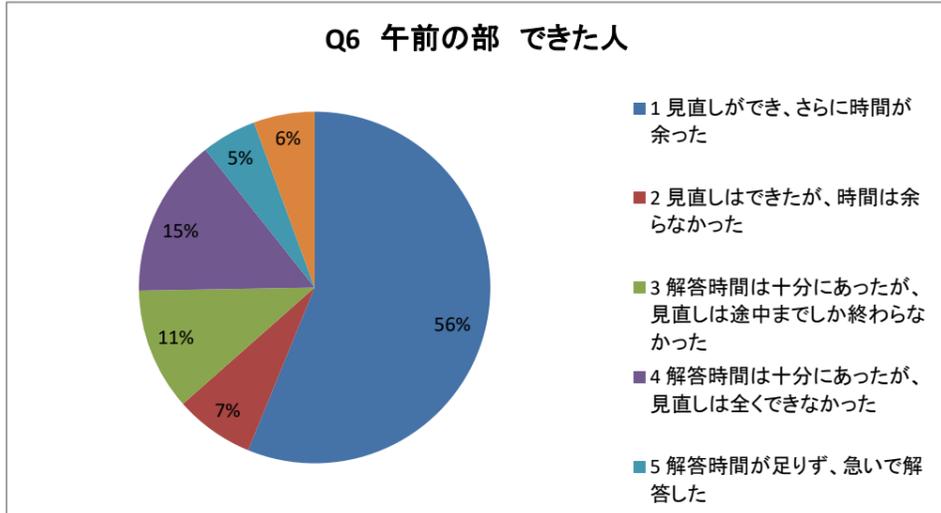
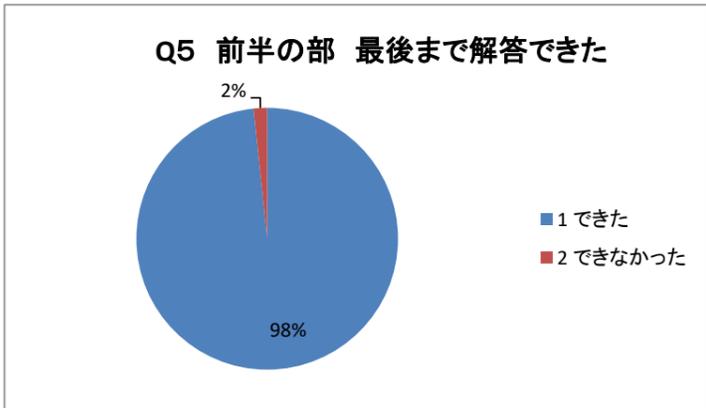
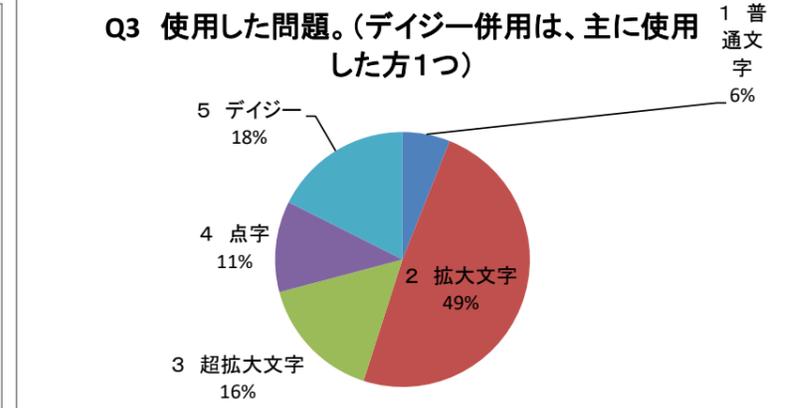
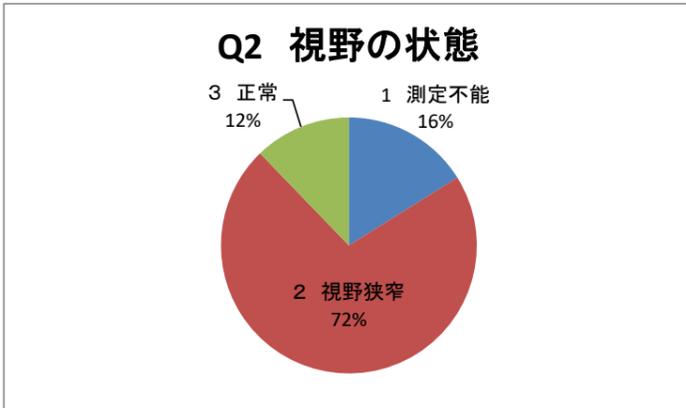
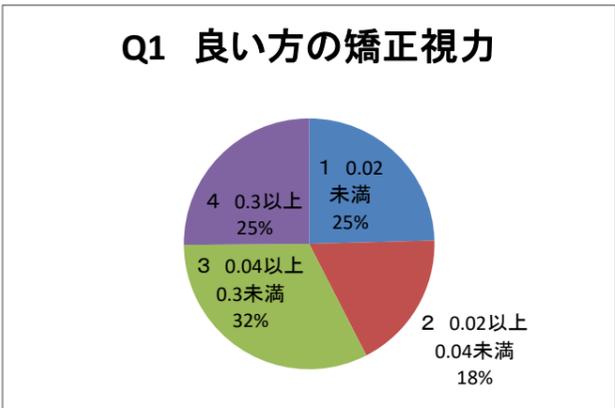
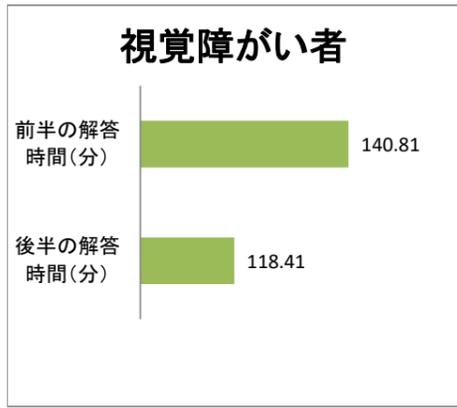
後半の解答時間(分)	前半の解答時間(分)
118.41	140.81

II 午前の部の試験時間															
Q4 前半の解答時間	Q5 前半の部最後まで解答できた		6 前半問題を最後までできた人						7 問題を最後までできなかった理由(複数回答)						
(分)	1 できた	2 できなかった	1 見直しができ、さらに時間が余った	2 見直しはできたが、時間は余らなかった	3 解答時間は十分にあったが、見直しは途中で終わらなかった	4 解答時間は十分にあったが、見直しは全くできなかった	5 解答時間が足りず、急いで解答した	6 その他(自由記載)	7 その他(自由記載)	6 考えるのに時間がかかったから	5 集中力が続かなかったから	4 感覚器以外の心身が疲れたから	3 問題を読むのに疲れたから	2 選択肢を繰り返し確認したから	1 もともと文字を読む速度が遅いから
140.81	176	3	100	13	20	26	9	10	3	0	3	2	5	3	1

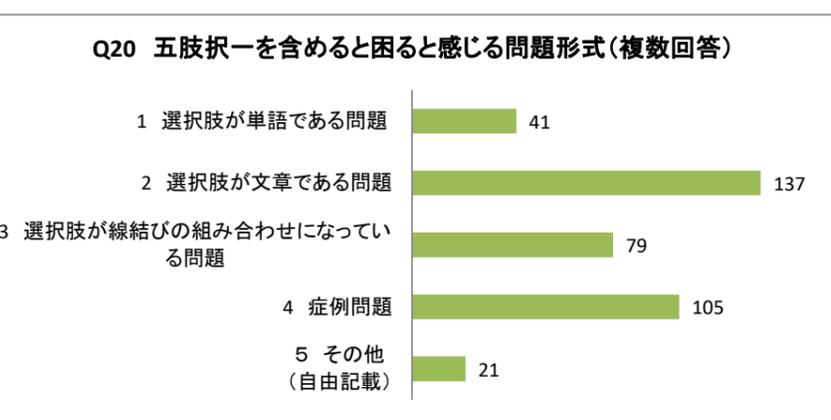
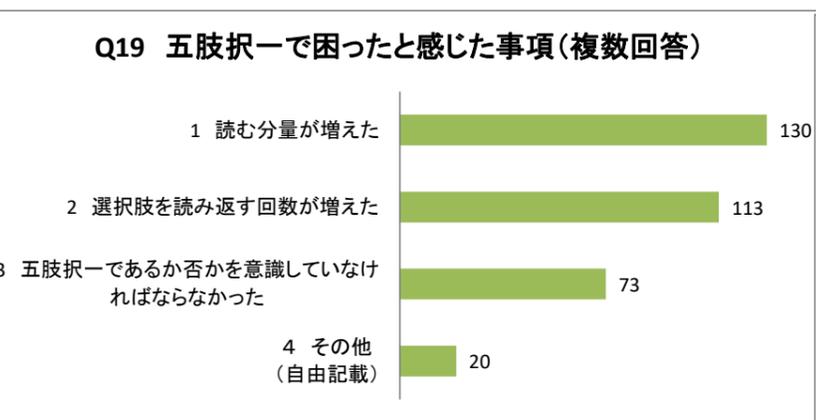
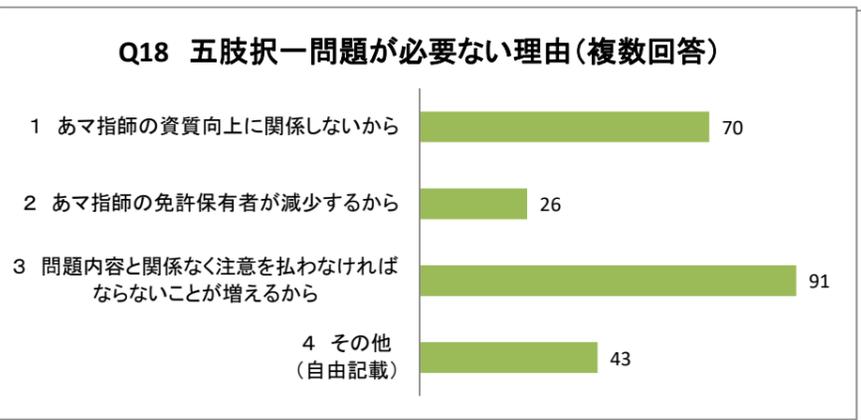
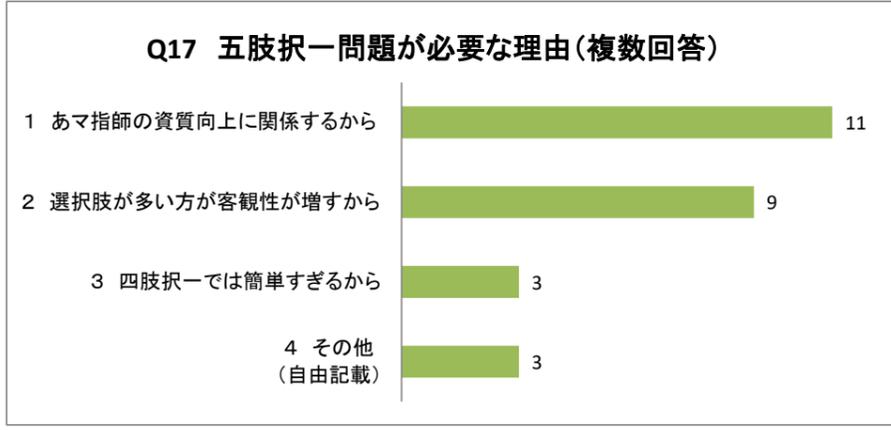
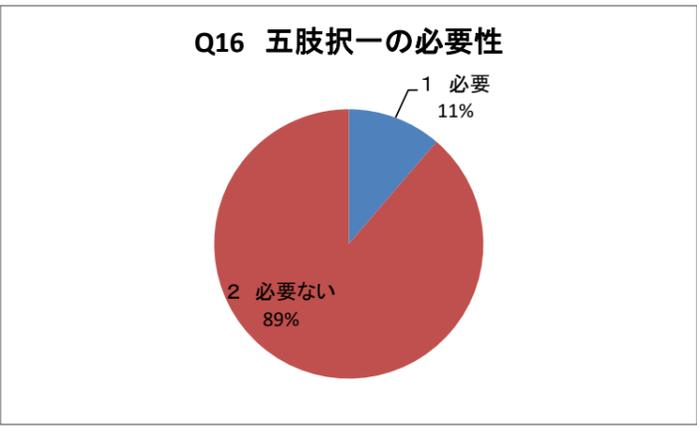
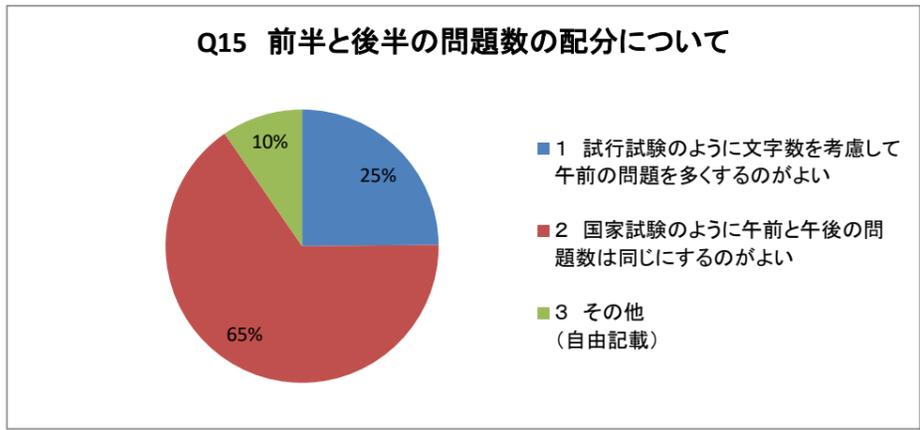
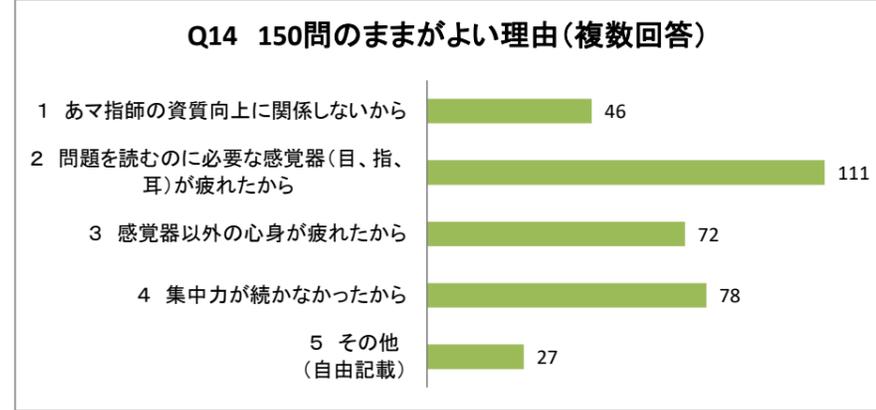
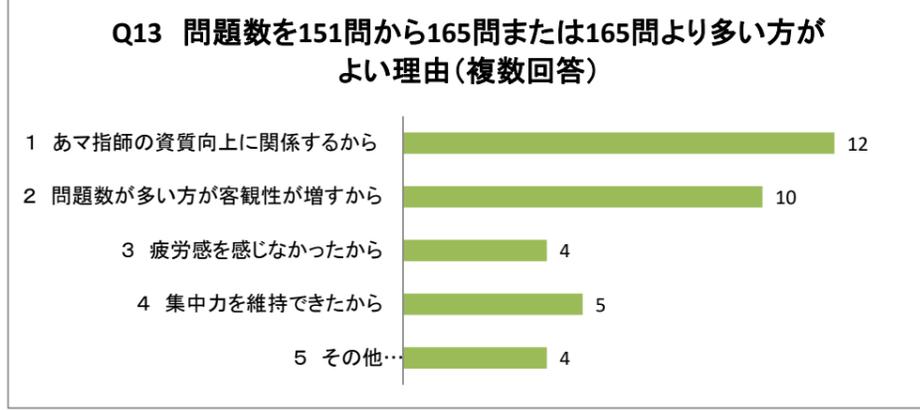
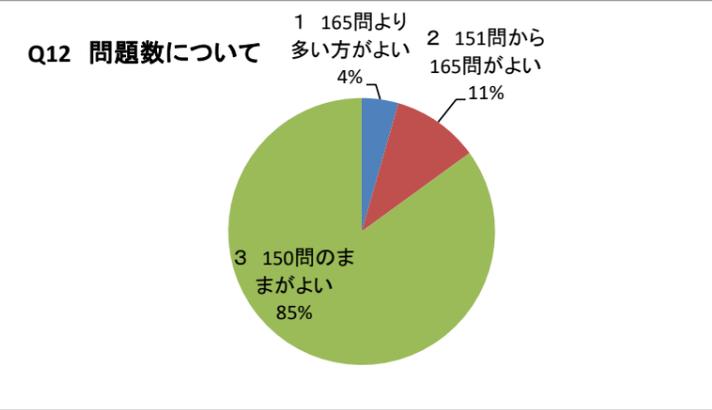
III 午後の部の試験時間															
Q8 後半の解答時間	Q9 後半の部最後まで解答できた		Q10 後半問題を最後までできた人						Q11 後半問題を最後までできなかった人へ試験時間について(複数回答)						
(分)	1 できた	2 できなかった	1 見直しができ、さらに時間が余った	2 見直しはできたが、時間は余らなかった	3 解答時間は十分にあったが、見直しは途中で終わらなかった	4 解答時間は十分にあったが、見直しは全くできなかった	5 解答時間が足りず、急いで解答した	6 その他(自由記載)	7 その他(自由記載)	6 考えるのに時間がかかったから	5 集中力が続かなかったから	4 感覚器以外の心身が疲れたから	3 問題を読むのに疲れたから	2 選択肢を繰り返し確認したから	1 もともと文字を読む速度が遅いから
118.41	174	5	101	14	16	22	8	13	3	5	6	5	10	7	2

IV 問題数について															
Q12 問題数について			Q13 問題数を151問から165問または165問より多い方がよい理由(複数回答)					Q14 150問のままがよい理由(複数回答)					Q15 前半と後半の問題数の配分について		
1 165問より多い方がよい	2 151問から165問がよい	3 150問のままがよい	5 その他(自由記載)	4 集中力を維持できたから	3 疲労感を感ぜなかったから	2 問題数が多い方が客観性が増すから	1 あま指師の資質向上に関するから	5 その他(自由記載)	4 集中力が続かなかったから	3 感覚器以外の心身が疲れたから	2 問題を読むのに必要な感覚器(目、指、耳)が疲れたから	1 あま指師の資質向上に関係しないから	1 試行試験のように文字数を考慮して午前の問題を多くするのがよい	2 国家試験のように午前と午後の問題数は同じにするのがよい	3 その他(自由記載)
8	19	153	4	5	4	10	12	27	78	72	111	46	44	116	17

V 五肢択一問題について																		
Q16 五肢択一の必要性		Q17 必要な理由(複数回答)					Q18 必要ない理由(複数回答)				Q19 五肢択一で困ったと感じた事項(複数回答)			Q20 五肢択一を含めると困ると感じる問題形式(複数回答)				
1 必要	2 必要ない	4 その他(自由記載)	3 四肢択一では簡単すぎるから	2 選択肢が多い方が客観性が増すから	1 あま指師の資質向上に関するから	4 その他(自由記載)	3 問題内容と関係なく注意を払わなければならないことが増えるから	2 あま指師の免許保有者が減少するから	1 あま指師の資質向上に関係しないから	4 その他(自由記載)	3 五肢択一であるか否かを意識していなければならない	2 選択肢を読み返す回数が増えた	1 読む分量が増えた	5 その他(自由記載)	4 症例問題	3 選択肢が線結びの組み合わせになっている問題	2 選択肢が文章である問題	1 選択肢が単語である問題
20	157	3	3	9	11	43	91	26	70	20	73	113	130	21	105	79	137	41



視覚しょうがい者 あま指試験 アンケート結果



視覚しょうがい者 あま指試験 アンケート結果

Ⅱ 午前の部の試験時間について

- 6 午前の部は最後まで解答できた方へ、試験時間について。
- 非常に目・肩が疲れた。疲労で思考が回らず集中も続かなかった。問題・選択肢何度も確認した。
 - 全て回答できたが、疲労で見直しをする気にならなかった。(目・肩・頸)
 - 目の疲労で見直しを途中で終わらせた。
 - 非常に目・首・肩が疲れた。特に目・首が痛い。
 - 見直す気力が・・・
 - 時間は1時間程度余ったのですが、解答見直しの時間がもう少し欲しかったです。
 - 最後まで解答したが体調不良により見直しができないまま退室した。
 - 腰痛悪化のため、退出するしかなく問題は解けたが、確認ができなかった。(解くだけで精一杯であった)

7 午前の部は最後まで解答できなかった方へ、試験時間について。

- まだ問題があると思わなかった。
- 点字使用者の点字板のカタカタいう音にイライラした。
- 問題数を勘違いしていた。見直しはしていないが、時間的には余裕がありそうだと思う。

Ⅲ 午後の部の試験について

- 10 午後の部は最後まで解答できた方へ、試験時間について。
- 要項とアンケートに食い違いがあった。午前の部同様。
 - 午前と同じく目・肩・頸の疲労のため見直しが出来なかった。
 - 目の疲労で集中力が続かなかった。
 - 非常に目・首・肩が疲れた。特に目・首が痛い。
 - お昼を食べ更に気力が・・・
 - 時間は1時間程度余ったが、解答見直しの時間がもう少し欲しかった。
 - 最後まで解答したが体調不良により見直しができないまま退室した。
 - 腰痛悪化のため、退出するしかなく問題は解けたが、確認ができなかった。(解くだけで精一杯であった)
 - トイレに行きたくなかったが、行きにくかった。
 - 午前と同じく見直しはしていないが、時間的には余裕がありそうだと思う。
 - 十分あったが、見直しはしない。

11 午後の部は最後まで解答できなかった方へ、試験時間について。

- トイレに行きたくなった。
- 聞くのに時間がかかったから・途中退席したから。

Ⅳ 問題数について

- 13 「165問より多い方がよい」または「151問から165問がよい」と回答した理由。
- 問題を難しくするのも限度があるため、その変わり問題の種類を増やしてテストのレベルを上げる。
 - 5択にするのであれば、午前・午後とバランスよくして、同じ問題数にすれば良いと思う。
 - 他の医療系国家資格の国試問題が180問なので、150超165以下は丁度良いと思う。

14 「150問のままがよい」と回答した理由。

- 15問足し5択も行うことで、どれくらいあま指師の質は向上するのか。
- 2のことで、拡大読書器を使用していますが、150問の時より、目の疲労を強く感じた。
- 長文問題がとても疲れる。
- あま指の資格取得が目的でなく、社会への参加することが大事だと思う。
- 150問までで難易度を上げたらいいのではないか。
- 最早、気力が・・・
- 基礎的問題を増やすべき。国試の難易度を上げてあはき師の資質向上には結びつかない。
- 5択なしで190問がよい。
- そもそもあん摩マッサージとかけ離れている問題が多い。筋・骨格・神経はもとより、運動学などに重点を置くべきだと強く思う。
- 150問の問題でも読むのに苦労しているから。
- 集中力が続かないのもあるが、何より見えない方にそれ以上負担をかけることがおかしい。
- 視野が狭い人などは何度も読み返して選択肢を選ぶことに時間がかかることがある。
- 目の症状が悪化し疲れて読めない。
- 視覚障害者の職域を守って欲しい。難しくする意図がわからない。
- 4択問題の方が、文字を見たり普段の受験対策での学習を行いやすいことと、今までのやり方と同じであって頂きたい。
- まだ見える人は良いが、点字かデイジーの使用者たちが大変だと思うから。
- 元々の問題数が多いので、増えすぎると解き忘れる問題も出てきそうなので150問程度が良い。
- 症例文が多かった。
- 持病の悪化が著しいため。
- 問題数が多くなるとその分、文字を見る量が多くなり、特に症例問題では、その行に移行するのに苦労して、目が疲れやすく、何度も同じ行を読んでしまうことが多くあり、読解力の低下が著明に表れた。
- 点字や音声利用の人に不利になるから。
- 問題を解くのは学校で一番早い方だが、見直しをしたい方が時間が足りないと思った。
- 問題数が今後増えることで今後受ける方たちと比べ、公平性に欠ける。
- 今回の試行試験の場合は見返すことができ時間も余ったが、実際の過去問では見返す時間も含めて終わる時間がギリギリか足りないため。
- デイジーをずっと聞いて次第に気分が悪くなり目眩と吐き気が出て来たので、焦り動揺で苦しかった。
- 問題を聞き返すのに時間がかかる。
- 問題数を勘違いし、やり忘れた。
- 時間的な余裕の為。

視覚しょうがい者 あま指試験 アンケート結果

15 午前85問、午後80問の問題数の配分について。

- 午前を多くしてもらってもよいが、午後の問題の文字数が多すぎて全部終わらなかった。
- 長文をデイジーで聞いて理解するのは大変である。
- 午前に数問、東洋医学が入るなど、区切りの良さを感ぜなかった。
- 午前の問題に5問だけ東洋医学が含まれていたが、教科の区切りも考慮して欲しい。
- 150問のままがよい。
- 専門基礎科目と専門科目で分けられればいいのでは…
- 150問で良い。問題数でなく、中身の充実をはかるべき。筋肉や神経・骨格や整形外科疾患を知らず、内科・外科を知っているあん摩師つくってどうするつもりか？
- 教科でちゃんと分けてほしい。午前に専門科目が入っていたので少し焦った。
- 1.2のどちらでも構わない。
- 午前に数問あった東医の問題は午後に移して欲しい。
- 今まで通りで良い。
- 問題数は午前・午後丁度いいが、問題と問題の空白が狭いので間隔をもっと空けると見やすい。
- 文字数よりも元気で集中力の有る午前中に問題数が多いほうが良いと思う。
- 午前と午後の問題数は同じが良いが、文字数がかたよらない方が良い。(デイジーを聞く時間が必要なため)
- 同じ科目を休憩はさんで後にまたがないで欲しい。
- どちらでも良い。

V 五肢択一問題について

17 五肢択一問題が必要と思う理由について。

- 4択で意味なく問題を複雑化させるより、5択にしたほうがよほど建設的。
- いつまでも同じでは思考が固まる。あはき問題は4択という状況を壊す。
- 選択肢において文章の読解力が必要になると思うから。

18 五肢択一問題が必要ないと思う理由について。

- 資質の向上を目的とするならば問題文、選択肢を難しくすればいいと思う。文章量の増加は目への負担も大きい。集中力を持続させる試験ではないと思う。
- 選択肢が増えただけで答えは1つのため、解き方は変わらない。難易度が上がったと言うより、ただ視覚障害者に不利になっただけな気がする。
- 全て一部5択は時間的、精神的につかれる。
- 選択肢だけが増えても意味がない。
- 5肢択一だと選択肢の読み返しに時間がかかったから。
- 五肢択一も四肢択一も変わりはないと感じた。
- 文字を読む量が増え、目が非常に疲れるので。
- 誤解答を誘発させようとしているから。
- 解答候補の選択肢に印をつけたり線を引いたり余白にメモをとることができない点字使用者にとって選択肢が増えることは不利になるから。
- そもそも質を向上させたいなら、各教育機関の実技の在り方など知識よりも考える所に多くある。1～2回の国試を受けた者との不公平が生まれる。
- 集中力を保つのも大変。
- 音で聴いていると問題文の見直しが難しい。自分の問いてる問題がわからなくなる。
- 4択で難易度を上げたらいいんじゃないのか。
- 150問でも多いくらい。
- 正しい答えが増えるわけでは無いから。
- 選択肢を増やすことよりも、出題内容を教科書に基づかさたり、臨床現場にて役立つ内容に変更した方が資質向上になる。
- 単純に五肢択一にしても難易度に大きな変化はないと思う。薬剤師の試験のように語群から正しいものを選ぶような問題であれば、選択肢を増やす意味があると思う。
- そもそもなぜ五択が必要なのか理解できない。
- 中身の充実をすれば対処できる問題だから。重箱の隅でなく、必要な科目・項目を拡充すべき。
- 資質向上のために試験内容を見直すのであれば施術内容(技量・患者対応)を伴わなければ試験を五肢択一にする意味はないと思う。筆記試験の難易度を上げる目的なら四肢の内容を吟味すればよいと思う。
- 資質向上であれば難易度を上げればよい。視覚障害者の視覚に参与することはして欲しくない。
- 筆記のレベルを上げて意味はない。ただの頭でっかちなロボット施術者になるだけだ。国家試験にも実技を取り入れるべきだ。
- 選択肢数が増え、眼の症状に負担が増え、試験後半文字が見えない。
- 解答が択一なら5肢でもあまり変わらない。複数回答の問題になったら難しく感じると思う。
- あま指師の質の向上と直接関係するとは思えない。
- そこまでして免許保有者を減らしたいの？
- 普段、見ない形式を見ると眼球振とうがあるためみえづらかったから。
- デイジー使用者が大変だと思う。
- さきほども書いたが、見えない人にも配慮すべき。問題増やすなら時間をもっと増やさないとダメ。
- 教科ごとにならべてほしい。
- 五肢択一ならば、四肢択一でも変わりがないので、四肢択一のみでいいと感じた。
- 特に現状の国家試験と比べても、あんま・マッサージ・指圧師の向上につながるとは思わないから。
- 読むのがきつい。
- 引っ掛け問題が増え、間違えを知識にしてしまう人が増えるため。
- 読む文字は極力減らしたい。
- 内容を考えている間に他の選択肢の内容が混乱するため。
- 文章問題が多すぎて重度の視覚障害者にはかなりの神経を使うように思える。
- 視覚障害者にとって、問題数も増え、さらに五択になると厳しいから。
- デイジーをうっかり5択目を聞き忘れたり、点字を読み忘れたりするから。
- 選択肢が増えても難易度が変化したとはさほど感ぜなかったから。
- 視覚障害者に不利なため。
- 時間がかかる。

視覚しょうがい者 あマ指試験 アンケート結果

19 四肢択一問題と比較して五肢択一問題で困った感じたこと。

- 4択より記憶しなければならない事項が増え負担だった。問題を解くのにかかった。疲労感があった。もし解答時間を増やしても集中力が続かないと思う。
- 点字を打つのに考え込んでしまった。
- 他の医学系資格でやっている中、やるべきだと思う。
- 表紙に五肢択一の問題が示されており、特に困らなかった。
- あん摩師・鍼灸師はこれを2日続けるとなると相当な疲れが増す。増やすなら日程も考えるべき。
- 問題分にチェックをつけられないので、2つに絞って悩んでいるときなどは読むのが大変。
- 五肢択一が視覚に負担となることがわからないのであれば、アンケートだけを取って欲しかった。
- ただただ難しい。しんどい。似た回答があった。
- 目が疲れる。
- 選択肢を後で目で追える人ばかりでない事を配慮して欲しい。
- 今までの26回の国家試験同様四肢択一であってほしい。とにかく、今まで通りであってほしい。(私以外の他の皆さんのためにも)
- 目が疲れやすくなり、集中力が低下したように思われる。
- 問題数は多いのに選択肢が増えて時間内に解けるか不安感がとても強かった。
- 問題文を聞いて選択肢を聞くと何について問われているか、あやふやになったり選択肢と言葉が混ざった。文章が長くてデイジーへの集中が保ちきれない。
- 視覚障害者の合格率に影響が出ると思うから。

20 五肢択一問題を含めることになった場合、困ると感じる問題形式。

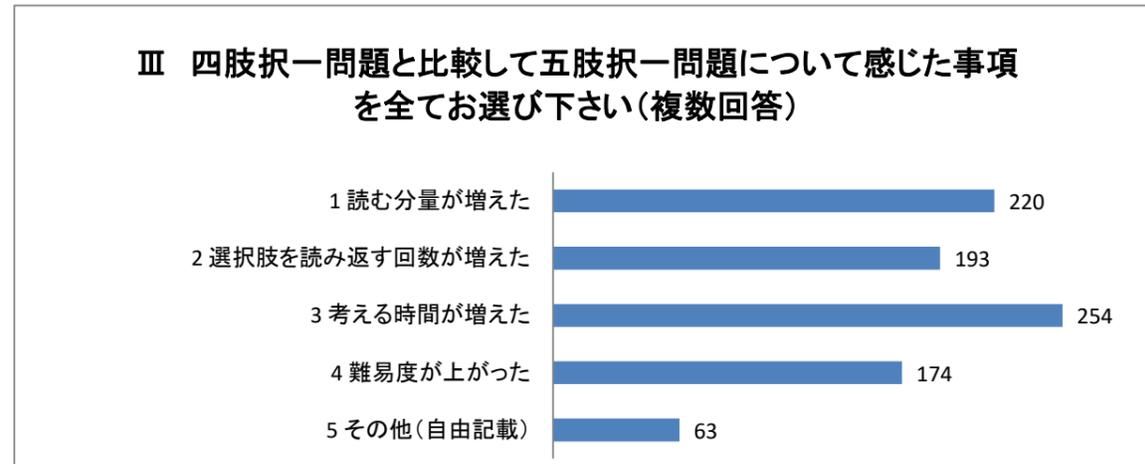
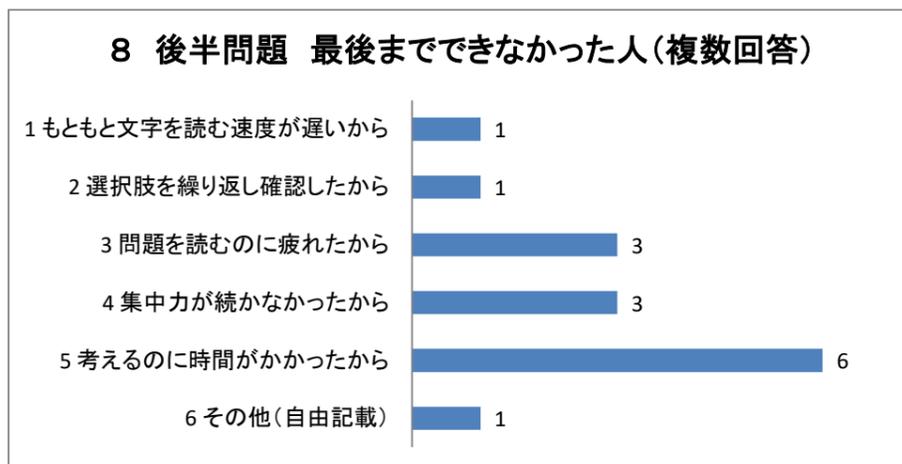
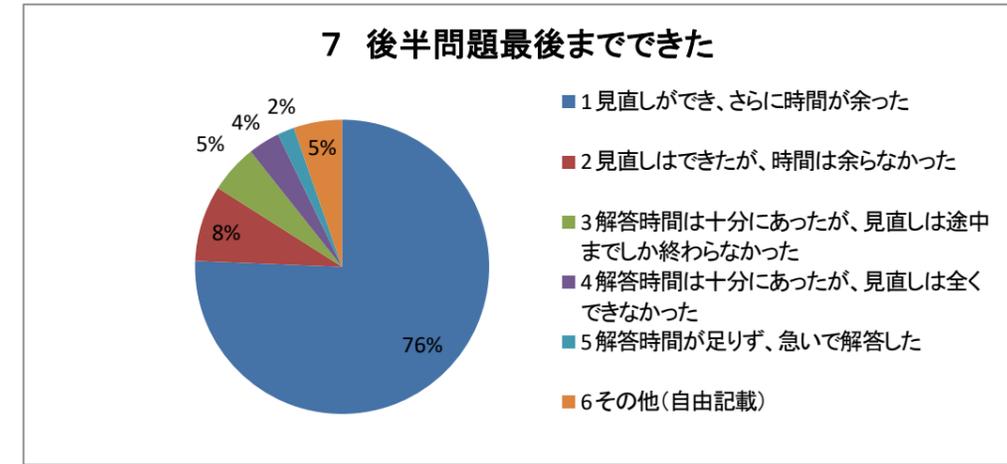
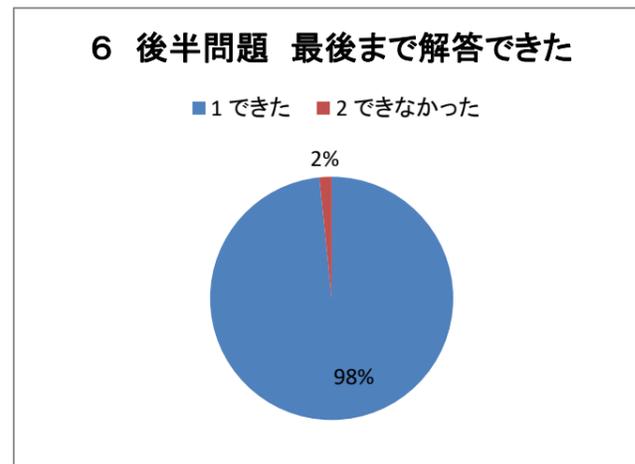
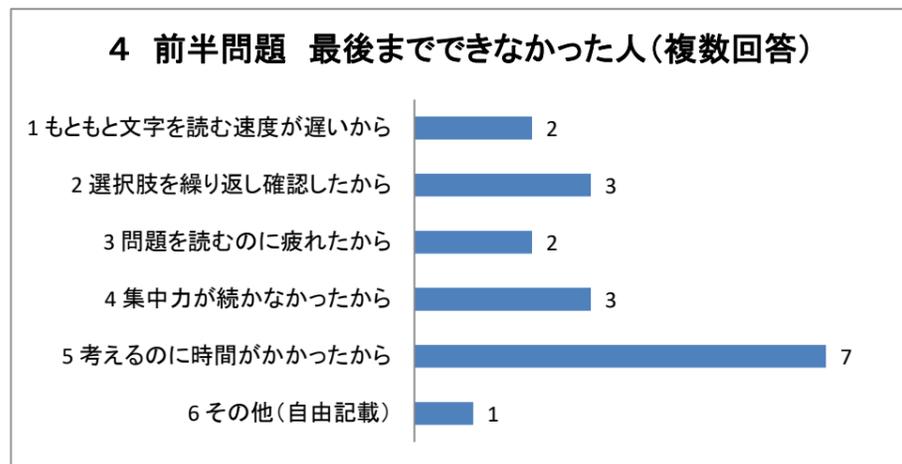
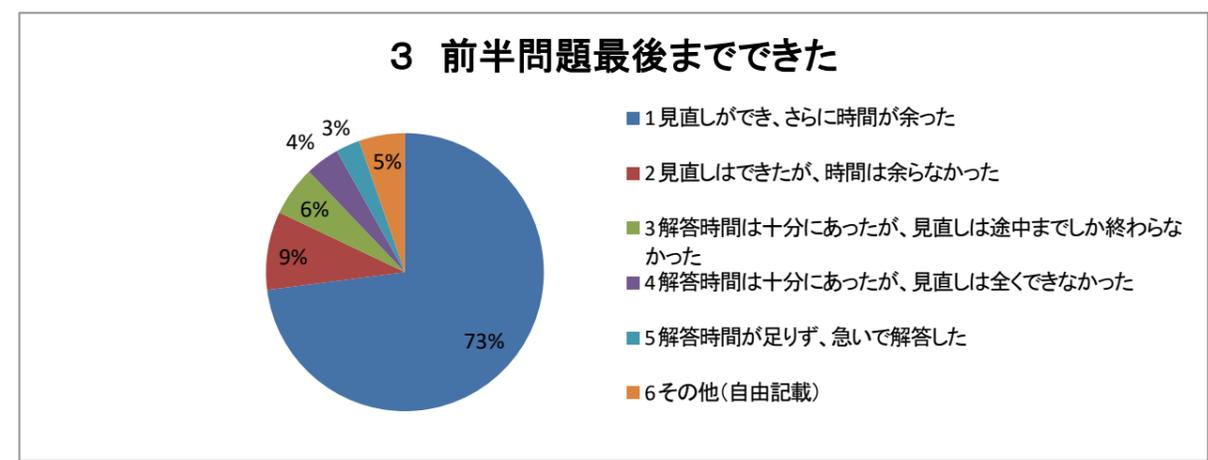
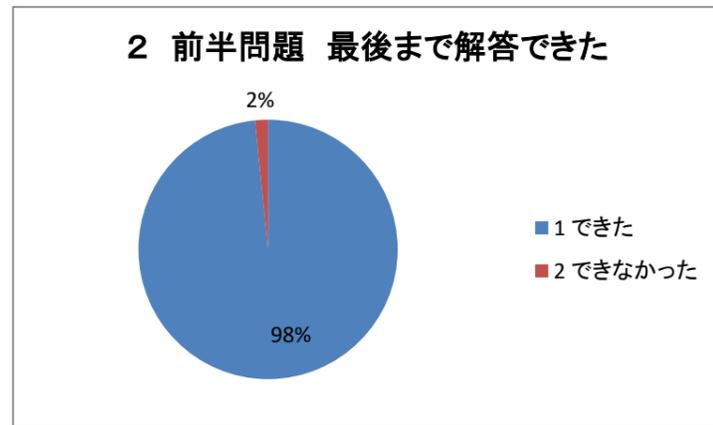
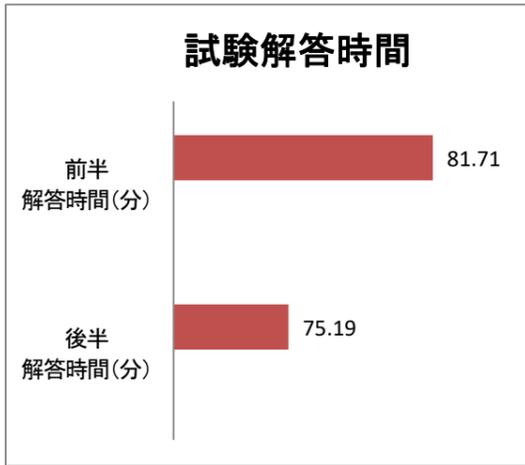
- 今回受けた問題用紙は選択肢がページを跨いでいたため、読み落としのリスクが高かった。
- 両眼に中心暗点があるからか見ている行が気づかずにずれていることが多々あり。Q20の3,4は特に困る。
- 特に困りません。
- 問題によって四肢択一と五肢択一が混在し、形式を確認する必要があるのであれば、全問題を五肢択一にしてもよいと思う。
- 長文の問題と選択肢がある場合。
- 問題形成に関わらず、5択が含まれること自体が困る。
- 文字数が多い。症例問題、また解答が文章化されたもの、組合せで答えるような解答は、拡大読書器を使用しても、文字判読が困難な者で、点字による受験ができない者にとってはかなり不利になると思う。何度にもよる問題の聞きなおし、解答の確認などで、一題に対する所要時間がかかりかかるから。
- 字数が多くてデイジーで聞いていると問題が分からなくなる。集中力に限界を感じた。問題数を増やしたり、文章の長い問題を増やすより、実技試験でも復活させた方がよい。視覚障害者のための職業ではなくなっていくのではないかと思う。視覚障害者には大変厳しい試験になってきている。
- 5択にするには少し文章を減らすべき。
- 問題数が長くなるなどにより、ページが2ページに渡ることがより増えるため、ページ数などの読み落としがおこりやすいため、現行どおり、問題構成を変えない方針でお願いしたい。
- 五肢択一はやめてほしい。
- 音声で聞くこと自体が時間がかかるのに5択や問題数を増やすと集中力もたないし、メモも書かないといけないのにそうする意味がわからない。
- 経穴や病理などの漢字が難しく見にくい問題。
- 頭がおかしくなる。
- 長い文章は読むときに見落としがないか注意を払わないといけないので大変。このアンケートのプロフィール欄に自由解答が出来ればもっと良いと思う。
- 長文がとにかく困る。(文章の読み落としをなくすため)
- デイジーの人は記憶との闘いになると思う。
- 視覚障害者の国家試験では、問題に書き込みできないため、見誤って誤答する可能性がある。
- 4肢択一の際に3つがグレーで「最も適切な」などと書いてない問題があったりする。5肢択一でも3つがグレーな解答だと倍の難しさを感じてしまいそうだ。誤っているものを選ぶの問題では現在でも文も読み間違えることが多いのが、更に多くなる。動脈の枝分かれの順番を選ぶとか、赤血球の再生の順番を選ぶなど。
- 五肢択一や問題数が増えると文字を読むのに疲れ集中力が最後まで続かなかった。
- 視覚障害者の免許取得が困難となり、就労の道がより厳しくなる為。
- 見方によっては正解が複数該当するのではないかと思われるから。

アンケート数
435

I 前半の部														
1 前半 解答時間	2 前半 最後まで解答できた		3 前半できた人						4 前半できなかった人(複数回答)					
(分)	1 できた	2 できな かった	1 見直しが でき、さらに 時間が余っ た	2 見直しは できたが、 時間は余ら なかった	3 解答時間 は十分に あったが、 見直しは途 中までしか 終わらな	4 解答時間 は十分に あったが、 見直しは全 くできなかった	5 解答時間 が足りず、 急いで解答 した	6 その他 (自由記載)	6 その他 (自由記載)	5 考えるの に時間がか かったから	4 集中力が 続かなかっ たから	3 問題を読 むのに疲れ たから	2 選択肢を 繰り返し確 認したから	1 もともと文 字を読む速 度が遅いから
81.71	428	7	313	39	25	17	12	23	1	7	3	2	3	2

後半 解答時間 (分)	前半 解答時間 (分)
75.19	81.71

II 後半の部															III 四肢択一問題と比較して五肢択一問題について感じた事項を全てお選び下さい(複数回答)				
5 後半 解答時間	6 後半 最後まで解答できた		7 後半できた人						8 後半できなかった人(複数回答)					5 その他 (自由記載)	4 難易度が 上がった	3 考える時 間が増えた	2 選択肢を 読み返す回 数が増えた	1 読む分量 が増えた	
(分)	1 できた	2 できな かった	1 見直しが でき、さらに 時間が余っ た	2 見直しは できたが、 時間は余ら なかった	3 解答時間 は十分に あったが、 見直しは途 中までしか 終わらな	4 解答時間 は十分に あったが、 見直しは全 くできなかった	5 解答時間 が足りず、 急いで解答 した	6 その他 (自由記載)	6 その他 (自由記載)	5 考えるの に時間がか かったから	4 集中力が 続かなかっ たから	3 問題を読 むのに疲れ たから	2 選択肢を 繰り返し確 認したから	1 もともと文 字を読む速 度が遅いから	5 その他 (自由記載)	4 難易度が 上がった	3 考える時 間が増えた	2 選択肢を 読み返す回 数が増えた	1 読む分量 が増えた
75.19	424	7	326	36	23	15	8	23	1	6	3	3	1	1	63	174	254	193	220



【コメント一覧】

I 前半の部の試験時間

3 前半の試験ができた方への質問。6.その他(自由記載)

- 時間は十二分にあったが体調不良のため見直しをせずに切り上げたため見直し時間は含まない。
- 時間がすごい余った。
- 見直ししてません。時間は余った。
- 急いでいたので見なおしはしていません。内容もじっくり解けなかった。
- 見直しすると、疑心暗鬼になって間違えるので、一問ごとに集中して解いた。
- 時間は余ったが、見直しをしなかった。
- 集中力が続かなく息が詰まったため見直しまで至らなかった。(心身的要因)
- 今回は試行なので、そこまで緊張なく行ったが、本番は緊張などで焦りもあるので、2時間10分ぐらいが適当だと思った。
- 丁度良い時間だった。
- 解答したが見直ししなかった。
- 見直しが必要と思う項目のみ見直した。時間は充分にあった。
- 最後5問紙がくっついていて、問題の存在に気づかず終了させてしまった。問題数を確認しなかった自分のミスである。友人と答え合わせしている時に初めて気付いた。
- 分からないところが多く、考える時間が短かった。内容についての意見・細部まであらためて勉強しようと思える素晴らしいきっかけになった。
- 分からない問題が多く、時間が余った。
- 時間はあったが見直ししていない。

4 前半の試験ができなかった方への質問。6.その他(自由記載)

- 81~85問まで不注意で紙がくっついていて、ないと思ったから、解けなかった。
- 理解ができないから。

II 後半の部の試験時間について

7 後半の試験ができた方への質問。6.その他(自由記載)

- 体調不良のため見直しをせずに終了時点で退出したため見直し時間は含まない。
- 時間は充分にあったが見直しをしなかった。
- 見直しはしていない。
- 前半と同じ。
- 時間は余ったが見直しをしなかった。
- 姿勢維持ができなかった為、見直しまで至らなかった。
- 解答時間は十分にあったが、過去の国試問題より難しく、見直す気力がなかった。本格的に見直すとなると、時間は足りないかもしれない。
- 解答したが見直ししなかった。
- 1問1問丁寧に解いたので、見直しはあまり時間をかけなかった。

8 後半の試験ができなかった方への質問。6.その他(自由記載)

- 体調不良で解答できなかった。

III 四肢択一問題と比較して五肢択一問題について感じたこと。

- 余裕なくなる づらい。
- 気づかなかった。
- 変化を感じ取れなかった。
- 午後は5択のない問題なのに、解答用紙が⑤までであると④とまちがってぬってしまうのでやめて欲しい。
- 4択を選ぶとき、マークミス(5につけそうになった)が発生した。
- 迷う設問が増えた。
- 四択とそんなこちがいは分からない。マークミスを気をつけた。
- とても疲れを感じた。
- 難易度はやや低い様に感じた。
- 5肢も5肢もそんなに変わらない。
- 四肢択一の過去問になれていたため、マークシートの番号を間違えた。
- 四択より、まどわされる問題は少ないので、難易度が上がったとは思わない。
- マークシートのぬる場所の確認や見直しにかかる時間が増えた。
- マークス番号を、間違えそうになった。(マークミス)
- 正解が見つけやすい様な、不適切な部分を見つけやすい気がした。
- 4択で2つにまでは絞れるが、3つにまでは絞れるが、に変わった。
- 習熟度の問題、答えが明確に導き出せれば、四肢でも五肢でも変わらない。ただし、文言にひっかけがある場合のことを考えると、よく確認する必要がある。四肢よりも五肢につかれる。
- もともとマークをつけるのが遅いので枠が増えたことで気をつかう量も増え見直しを減らしました。
- 迷わせるような選択肢が増えたわけではないので、四択で解ける知識が有れば五択でも迷わず解けるんだらうなあと思いました。
- 五肢択一になっても正解が一つであれば考える時間は増えた印象にはならなかった。正解が複数となると、考える時間、難易度、があがると思う。
- おもしろかった。
- 一択なのか。二択なのか。その部分でも時間を使った。
- 特にはなにも違和感がない。

晴眼者 あマ指試験 アンケート結果

- この内容のテイストで今後行われるなら対策をつかみにくいかもしれないと思った。
- 五択にするようであれば、実際の臨床によく出るような病状問題に適用するのが良いと思った。その方が為になると思う。
- 時間が迫っていたり、緊張や焦りがある場合は、混乱をきたすことがあるが、平均的に考えた場合、時間がかかるとしても、難易度が上がるようには思えなかった。
- 特に違いを感じることはなかった。2択二するまで時間がかかったが、全体的には大きな差はない。
- 4択と5択が入り交じっているので、マークミスしそうになる。
- これはこれというイコール問題が多く、さほど難易度に違いがないように感じた。
- 何択で有ろうと、最後は2択に絞れるので、余り意味を感じない。
- 選択肢の文を短くして欲しい。前半に一気に持ってこないで、やるなら途中途中で挟んで欲しい。
- 五択にする必要性が理解出来ない。
- 四肢択一と変わらない。
- 五択問題は少数であったため、特に問題ではなかった。
- 上下の文と混在し、読み間違えそうになった。
- これまでの四肢択一と何ら変わらなかった。特に変化を感じなかった。
- 四択の感覚でマークしていて、何回かマークミスをしてしまった。(4の答えなのに5にマーク)
- 五肢択は受験回数が少なく、選択決定に不安があった。
- 五択になっても難易度は大差ない様に感じた。選択肢の数よりも選択肢の内容(文章だったり)の方が難易度的に影響していると思う。
- マークシートが5択になっているため、4択の問題を行う際に塗り間違えがあった。
- 五肢択一になるだけで難しく感じた。
- 特に大きな差は感じなかった。
- 4択と変わりなく解けた。
- マークシートが五択用になっているので、マークミスしやすい。見なおしをしたら実際に1つミスをしていた。読む量が多くなったきがして、時間が足りるかどうか心配になり焦った。

IV 当試験内容についての意見

- 余裕がなかった。
- 問題の難易度がやや高めだと感じた。
- 問題数が少なくなり一問に知識が必要になっている傾向になる事が知れて興味深かった。
- マークシートは午前用の縦のものの方が書きやすいと感じた。
- 難しかったと思う。
- やはり五択になるとその分選択肢が増えて難しく感じた。
- 問題文が何問かは、文章の理解力を要するモノがあり、文章理解力も重要に感じた。
- 午前中は5択なのでわかるが、午後は4択しかないなら、解答用紙も4択にして欲しい。
- 四択と五肢択一の混合問題ということで、マークを塗りつぶす際、誤った回答欄を塗りつぶしてしまったということが少なからずあった。また、午後は四択問題にもかかわらず、回答欄が⑤まで有り、塗り間違えやすくやりづらかった。
- 授業で習ってないような内容が問題で出てきてドキドキした。
- 全部五肢だと思っていた。どうせなら全部五肢択一でやってみたかった。
- 5択や勉強していない疾患などもあって参考になった。
- 選択肢が1つ増えただけで、一つの問題に対する疲労感がある。
- 通常の試験と違う形だったので、良い経験になった。
- 良い機会だった。
- 前半はなれていないこともあり、かなり難易度が高かったと感じた。後半は4択のみだった為か、そこまで難しいとは感じなかった。
- 問題が混ざっているのを初めてやったので、とてもやりにくかった。
- 五肢択一の問題が少ないように感じたので、もっと多くても良いと思う。
- 五肢択一になり、集中力が欠けると、五問目の問題をよく読まずに解いてしまう気がした。
- 従来の問題と比べて問われる内容がビョーに違った。(ex.症状→症状が初期に出るのか、後期に出るのか)そのため、病態などを一連のストーリーとして理解する必要がある。ただの症状の暗記だけでなく)
- 5問あると更に迷ってしまい、絞るのが難しかった。もっと勉強しないといけないと思った。
- 5択の問題はそこまでなかったが、正直五肢になったとしてもそこまでかわらなかった。なのでそのまま四肢でいいのではないかと感じた。
- 選択肢が一つ増えただけで問題によってはかなり混乱した。五肢択一問題だと、正解を求める問題がよりむずかしく感じる。「1番正解」と思われる選択肢を見つけるためにより深い知識と理解力が必要とされると思った。
- 五肢択一に成ると、選択肢が増えるので、迷うことが多く難しく感じました。試行とはいえ、試験の貴重な機会を頂きありがたい。
- 4択の問題も難しすぎた。
- 選択肢が増えたことにより感じる変化はあまりなかった。難易度に関しては、難しくなったと言うより、むしろヒントになり考えやすくなった。
- 午前が余りにも難しすぎと思った。解くの何段階もいるような問題が多い。以前ならMMT4の定義だけで終わっていたのが、今はそのまま筋肉まで聞くようなあまりにマニアックな事ばかり聞くのもどうかと思う。たとえ5択にしたとしてもこれ以上合格率が下がらないような問題を期待する。
- 選択肢の多さにかかわらず、今までに解いた過去問二比べて少し問題の難易度が高く感じた。
- 1ページあたりの問題数が読みやすく、丁度良かった。東洋医学系の設問が5択担ったら、もっと時間が必要になると思う。(解答・問題を読むための)
- 5肢2択などにして、難易度を少し下げて、基礎的な問題にして欲しい。
- 読む量が増えた。字数が多いほどヒントに成っているいろいろ考えやすい。解答を導きやすい。
- 最初だけ五択にする必要性をあまり感じなかった。
- 意図がつかみにくい問題が幾つかあった。認知症のものなど、何の知識をわかっていれば解けるの明確にして欲しい。
- 難しかった。
- 国試に向けて、良い練習になった。
- 五肢択一の場合、難易度の上昇は余り感じなかったが、時間を取られている感じはすごく感じた。時間に余裕がないときだとキビしく感じたかも知れない。
- 後半は4択だし、何を目的にしているのか不明なテストだった。
- 難易度が高かったように思えた。
- 後半の回答シートの方が、解答欄が分かりやすく書きやすかった。

晴眼者 あマ指試験 アンケート結果

- 四択でも難しい。
- 分かる問題と難しい問題の差が大きかった。五択から四択に戻った瞬間安心した。五択はやはり難しいと思った。
- 前半と後半の問題の難易度の差がかなりあるように感じた。自分の勉強不足という点は明白だが、前半と後半を比例すると、前半の問題の方が難しく感じた。
- 難しい問と簡単な問と差があった。
- 後半は四択だったので、今までの試験とあまり違いがなかった気がした。
- 全体的に一歩深い知識が必要のように感じた。知らない言葉(単語)も多く、言葉の解釈も難しかった。東洋概論、経穴二関しては、鍼灸国試に比べれば、少し浅いのかなと感じた。五択は初めて触れたが、容易に間違い探しを選べれば解けるようなもではなく、難しかった。
- 難しかった。5択は本当に知らないと答えられない。(消去法は難しい。)
- 国試の内容、雰囲気少し想像できた。基本的には知識をていねいに把握する等、勉強になる楽しさが増える気がした。臨床の問題はとても楽しかった。考えて解けるように勉強したい気分になれた。
- 五択一問題で全ての問題を解くとすると、時間がかかり、見直す時間がとれないと思う。試験内容は、読みやすく答えやすい問題だったと思う。
- 東洋の問題数が非常に多い。五択は消去法で選択肢を絞りきれなくて難しかった。東洋の選択肢はあまりまどわせる選択肢がなくて簡単に感じた。
- 時間が余ったと言うよりは、どれだけ考えても分からないからあきらめたという感覚の方が強い。
- 国試過去問題に対して、過去余りつかわれぬ文言(言い回し、用語)が多かった気がした。五択のマークシート用紙に4肢選んで記入は4と5、あるいは3と4を、4を右端とってしまう。
- 通常受けなれている四肢択一問題と同じような感じだったが、今回は一部だった。全問、五択一となると時間もかかり、眼の疲労度も変わってくると思う。
- 5肢択一から5肢択一となると、問題に費やす時間が単純に5/4倍に増えるのではなく、考える時間が大幅に増える(特に迷っている場合)ので、それ以上に時間を要することが実感できた。ただ難易度との兼ね合いも有ると思う。
- 最初の五択が特に嫌でした。前半の分が苦手科目が多いせい、難しく感じた。
- 5択は特に難しい。
- 基礎問題が多かったと思う。病理・臨床各論で迷う選択肢がいくつかあった。難易度はよく分からないが、読みやすい問題が多かったように感じた。
- 後半の東洋系の問題は、文章問題が多く、読む時間、考える時間もとてもかかってしまうので、時間的に余裕がなく、じっくり考えたくても、できないのが残念だった。
- 文章題が多く、熟考することが多かった。単語の意味が皆目分からないときがあり、もう少しヒントが欲しいと感じた。
- ページ毎に問題数に違いのある度、(2~5問)読み返しを行う際にやりづらさを感じた。
- かなり本試に近い内容で参考になった。ただ、五択の時は誤答がでそうだなと思った。
- そもそも東洋医学のウェイトがこんなに大きいと知らなかった。東洋医学臨床論という名のつけられた前半の教科が所々に入っていて、脳の柔軟性をとわれたきがする。全体的に応用力を問われている気がする。東医学の長めの問題は五行のみで対応できないと感じたが後半の大半が東洋系なので、とてもロマンがある(西洋系が苦手でもまきかえせる)と感じた。内容が学術的>臨床的。今のあマ師はどちらかという学術よりなのかな?と感じた。東医の比率のわりにそこまで鍼灸よりってワケでもなかった。今後はアクティブなあマ師を求めているのかな?と思った。国試で聞いたことのないことを聞かれるのは当たり前だが、そこから更に踏み込んで、内容(単語)を理解しているか問われた気がする。範囲、内容、出題形式を聞かされず受けた身としてはこれで合否をきめられていたら苦情を入れたくなる思った。
- なぜ五択一問題にしようとしているのかよく理解できない。
- これまでの国試の傾向と違ったので、苦戦しましたが自分の弱点が見つかり、勉強になった。
- 正答を選ぶ問題であったため、問題文自体にひっかけの意図が感じられない点よかった。
- 良い経験をさせていただいた。
- 五択がもっと多いのかと思っていたので、いつもの模擬テストにくらべて大きな変更には感じなかった。
- マークシートが縦型と横型があったので、統一したほうが混乱しないかなと思った。余白がしっかりあるので、いろいろ書き込みしながら考える事がしやすかった。
- むずかしいので、本試はやさしくしてもらいたい。
- 私にとってはかなり難しい問題ばかりで、これからの国試にむけて不安になった。
- 全体的に難しいと感じた。
- 解剖の次は生理の問題のようにあまり規則性がない順番で、斬新な感じで個人的には、気分転換になりました。東洋の問題が難しかった。
- 問題数が増えたことについては、さほど違和感を感じなかった。問題も、正しいものは、という問いが多かったので、素直に解くことができ、4択がっても出題の問われ方によっては、5択よりも難しいと思われるものが過去問ではなかったもので、自分の記憶になかったものを除いては、解きやすかったと思う。マークセンスのシートは、後半に使用した横書きのものの方が書きやすかった。
- 今回の試験で感じたことは、一つ一つの疾患についてより深い知識がないと解けないと思った。五択一問題も特にひとつ選択肢が増えたからと言って難しいとは感じなかった。たくさんの知識があれば解けるので四肢も五択も難易度は変わらなかった。今回の試験で改めて自分自身の足りない知識が把握できたので、とても勉強になった。
- 今までの試験と比較すると難しく感じた。
- 東洋医学の比重があまりに大きいように感じた。解く中で科目がまとまっておらず、リハビリを解いた後に東洋かと思ったらまたリハビリに戻る、といったような感覚があり、非常にわずらわしさを感じた。やめてほしい。
- シンプルな問い程、難しいと感じた。あらゆる可能性を考えさせられた。
- はじめマークシートの縦書きは横書きに比べて記入しにくかった。しかし、破線の区分け線があるため、徐々に記入しやすくなった。
- 東洋医学の分野(経絡経穴)が多いと感じた。
- 問題難易度は変わらないが、選択肢を読む分と問題数の増加によって解答には時間を要し、集中力を維持する必要を改めて感じた。
- 問題用紙に、問題1(86)→見づらい 解答用紙→85 80 にしてほしい。ただし症例問題レベルの難しい問題は5択だと難しく感じた。
- 復習のテストとしては丁度良かった。国家試験対策としては物足りなく感じた。勉強のきっかけが増えてありがたい。
- 五択から四択もしくは逆のように設問があると、解答シートの記入ミスが起きやすい気がした。後半の横に記入していく解答シートは使用しづらい。
- 五択一は、時間がかかるのと、読み返ししたときに、考え方がまとまらない。
- 4択と5択を混ぜるのはおもしろいと思う。しかし、5択のほうが圧倒的に問題のレベルが上がるため、試験時間は考える必要があると思う。全ての問題を5択にするのは難しいと思う。
- 別に五択にするのは良いと思うが、全てを五択にしないで1科目に1~2コ五択を入れるとかの方が良いと思う。
- 今回試験の問題、言葉づかいはそれほど難しくなかったのですが、時間が丁度良かったが、もし難しい問題が増えると時間どおりに終わらなかったと思う。
- 五択一が難しかったです。
- 5択だと絞るのが難しい。
- 全ての問題が五択一になると、制限時間内に終わることが難しくなると思われるので、問題数を減らし五択一にして頂けると助かる。
- もっと今後鍼灸師として必要な問題にしてほしい。
- 午後の解答シートの方が記入しやすかった。
- 5択にする意味とは何か?それならば臨床でも使える知識の問題を作って知識を高めれば良いと思う。イラストで答えさせるなど。
- 所々に教科書授業でみられない文言があり、いくらあま師の質の向上が必要とは言え、受験者の立場から見ると、アンフェアに思える。
- 5肢択一問題で時間はかかるが、その後の見直しで今までは回答+3つの内容を覚えていたのに対し、回答+4つの内容を覚える事が出来ると思う。量はあまり多すぎない方が時間に余裕を持てると思う。
- 結果が早く欲しい。

- 五肢択一担った分、問題としての難易度は低かったように感じる。ただ、読む分量が増え、曖昧な知識だと解けないのって、ちょうど良いと思った。
- 細部まであらためて勉強しようと思える素晴らしいきっかけになった。
- 勉強不足な面も多いが、選択肢で問われている意図が不明な部分が多少あった。
- 五肢択一問題を実施してもかまわないが、四肢択一問題の制限時間内で実施すると、時間がなく見直しの時間がなくなる。
- 五肢択一が前半の一部のみだったので、後半にも一部組み込んだ方が良いのではと感じた。
- 後半の問題番号:問題1(86)←両方あってよかった。となっていたのが分かりやすくて助かった。
- 国試に向けて、いい機会となった。
- 分かる問いに関しては、時間は変わらないが、難易度の高い問いだと、なかなか答えが定まらず、時間を使った。また、知識をを増やしておかなければならないので、難解な問題とかは、臨床で用いられないようなものは4択で、定番かつ臨床にもよく遭遇するような(禁忌等の)問題においては、五択だとなおよいと思う。
- 試験時間が長かった分、余裕を持って考える時間があった反面考えすぎて分からなくなる所もあった。
- マークシートの形がぬりにくい。
- 東概や経穴で五択がなかったので、全体としては分からないが、五択の方が解くのに時間がかかった。初めて聞く単語も有り、普段より悩むことが多かったが、165問全てで評価するそこまでむずかしい問題ではなかった気がする。
- 症例問題での情報量が少ないため、多答ではないかと思われる問題があったと思った。
- 五肢択一二成ることで、より確信が持てなくなり難しいと感じた。
- 五択よりも四択の方がレベルが高いように感じた。
- 午前問20、21の「手指を開く」の意味が、指の外転なのか伸展なのか迷った。